korekt / 改 / 「訂正」「改正」の意味を持ち、日本語・中国語双方で「正す・直す」のニュアンスが分かりやすい / 一文字で画数も比較的少なく(7画)、学習コストは抑えられる

* bind / 装订 / 中国語で「本を装丁・製本する」の標準的な表現。日本語の「装丁」にも近くイメージしやすい / 単独1文字「订」だけでは「注文・締結」などの意味の方が強く分かりにくいため、2文字熟語とした。やや画数は増えるが、「装」「订」の2文字はいずれも使用頻度が高く学習価値がある
* redakt / 编 / 中国語の「编辑(＝編集)」の主要構成要素。「編」の簡体字で、日本語話者にも「編」の簡体形として連想しやすい / 一文字なので画数を抑えられ(9画)、かつ「編集」に直結するため意味が取りやすい
* kompon / 合成 / 中国語で「合成する」は「組み合わせて構成する」のニュアンスが強く、「構成・作り上げる」に近い。日本語でも「合成」と書けば比較的理解しやすい / 「合」「成」はどちらも頻出漢字で、総画数12画と比較的少なく済む
* kompil / 编 / 「compile＝編集・編纂」の意味を、中国語の「编(編)」で再利用 / 上記redaktと同一の文字を割り当て、区別は上付き文字等で行う予定。新たな漢字を増やさないため学習コストが抑えられる
* modul / 调 / 中国語で「転調・調整・調節」を表す際に用いる「调(調)」を採用。音楽の転調、あるいは信号の変調(modulation)も同根 / 1文字(6画)で比較的覚えやすく、「調」として日本語話者にも連想しやすい
* konfuz / 乱 / 「乱れる」「混乱」のイメージが強く、日本語でも「乱」は同形。中国語では「打乱」などで「混乱させる」というニュアンスを含む / 7画とシンプルで、日中双方が意味を推測しやすい
* komplik / 复杂 / 中国語で「複雑」を直截に表す熟語。日本語でも「複雑」の簡体形で、意味を連想しやすい / 2文字だがいずれも頻用漢字であり、単独1文字よりこちらの方が正確かつ自然
* fund / 底 / 「底」「根底」の意味に対応し、日本語でも「そこ」と読める / 8画で比較的シンプル、かつ日中で共通認識しやすい
* profund / 深 / 「深い」「深遠」を表すのに最適。中国語・日本語ともに同形で分かりやすい / 11画だが、汎用性・認知度が極めて高い
* abism / 渊 / 中国語「深渊(＝深淵)」の核心要素。日本語「淵(ふち)」の簡体形で「深い淵・底知れぬ穴」の連想が容易 / 11画だが、単独1文字で「深淵」を示しやすい
* sond / 探 / 「探る・探査する」を直接表す。中国語「探测」、日本語「探る」とも一致 / 11画だが、日中両言語で用例が多く覚えやすい
* sulk / 垄 / 中国語で畑の「畝(うね)・畝間の盛り上がり」を指すときに使われる文字(「壟」の簡体形)。日本語からはやや馴染みが薄いが、意味としては的確 / 8画で比較的少なめ。他であまり使われないため意味割り当てがはっきりする
* kavern / 洞 / 「洞窟」に直結する単語。中国語・日本語ともに「洞」が通じる / 9画で日常的によく見る漢字
* tru / 穴 / 「穴」を直接示す。日本語でも同形 / 5画と画数が少なく、視覚的にもストレートに意味が通る
* kav / 坑 / 「穴・坑」「掘り下げた所」「くぼみ」に対応。中国語では「矿坑(鉱坑)」「坑道」などに用いられる / 7画で比較的少なく、他の「穴」「洞」と区別をつけたい場合に使いやすい
* bor / 钻 / 中国語で「穴をあける・掘り進む」を意味する「钻(鑽)」を簡体字で採用 / 10画だが、「ドリルで穴を開ける」ニュアンスに合致。日本語話者は「鑽」の簡体形と認識可能
* fos / 掘 / 「掘る」行為を表すのに直観的な字。中国語・日本語ともに「掘」を用いる / 11画とやや多いが、日本語でも通用しやすい
* fos## / 坑 / 「(地面に掘った)穴」を改めて指す場合に「坑」を再利用 / 既出のkavと同じ「坑」を流用することで、学習コストを増やさない
* akn / 疹 / 吹き出物・発疹を広く示す字。中国語でも「皮疹」、日本語でも「疹」を見れば皮膚トラブルをイメージできる / 10画だが「吹き出物」を代表する単漢字としては比較的使いやすい
* ŝaŭm / 泡 / 「泡・あわ」を表す最も一般的な文字。日本語の「泡」と同形 / 8画で、液体や洗剤の泡など広範に通じる
* rekrement / 粕 / 「搾りかす・かす」のイメージが強い。日本語「酒粕」や中国語でも「米酒のもみ殻(酒糟)」の一部として使われる / 10画だが「渣(残渣)」よりは日本語的に「かす」を連想しやすい。やや専門的だが一文字で表せる

### **1) ŝpruc**

提案: 喷  
理由: 「喷」は「噴(日本で使う“噴”の旧字)」の簡体字で、液体・気体などが勢いよく“噴き出す”意味に対応。  
学習コスト: 口偏を含む常用字であり、日本語話者も「噴」の簡体字と理解しやすい。

### 2) ŝut

提案: 倒  
理由: 「倒」は“ひっくり返して中身を出す”というニュアンスが強く、粉粒や内容物を「どさっとまく・注ぎ出す」動作を表すのに適している。  
学習コスト: 日本語でも「倒す」「倒れる」でよく用いられる字形なので比較的想起しやすい。

### 3) ĵet

提案: 投  
理由: 「投」は“投げる・放り出す”という意味で日中共通に認知度が高い。  
学習コスト: 斜めの動きを示す“扌(手偏)”系の「扔」「抛」などもあるが、日本語学習者には「投」の方が馴染みがある。

### 4) verŝ

提案: 注  
理由: 「注ぐ」(日本語)と同源で、液体を容器に“注ぎ入れる・注ぎ出す”イメージを直感しやすい。  
学習コスト: 8画程度と画数も少なく、日中双方に比較的通じる。

### 5) pump

提案: 抽  
理由: 「泵(ポンプ)」という単字もあるが、やや専門的な用法。動作として“液体や空気などを吸い上げる”意味には「抽」が広く使われる(例: 抽水 “水をくみ上げる”)。  
学習コスト: 「抽」は日本語でも「抽出」「抽選」などで用いられ、認知しやすい。

### 6) glut

提案: 吞  
理由: “飲みこむ・呑みこむ”の意。日本語の「吞(呑)む」「吞(飲)み込む」と対応しておりわかりやすい。  
学習コスト: 口偏に似た形と「千」に近い部品で構成され、画数も多くない。

### 7) suĉ

提案: 吸  
理由: “吸う・吸い込む”の最も代表的な簡体字。「吮」などもあるが、一般的には「吸」が主流。  
学習コスト: 口偏なのでイメージしやすく、日本語でも「吸う」で共通。

### 8) ĉerp

提案: 汲  
理由: “汲む”に直結する字。水を“くみ取る”動作を簡潔に表せる。  
学習コスト: やや古風だが「水偏＋及(およぶ)」でイメージはつきやすい。日本語にも同形が存在。

### 9) sorb

提案: 吸收  
理由: 単に「吸」だけだと「suĉ(吸う)」と重複しやすいため、“吸収”の意味をよりはっきり示す2文字熟語「吸收」を採用。  
学習コスト: 「吸」は既出で共通化でき、「收(収)」も日本語の「収」と類似。合計2文字だが高頻度語なので比較的覚えやすい。

### 10) krev

提案: 裂  
理由: “裂ける・割れる”に対応。爆発ほどではなく、亀裂・破裂など“裂開”のイメージが強い。  
学習コスト: 「衣(ころも)」偏の部首を含むが、中国語でも「裂开」などで用いられ、そこまで学習困難ではない。

### 11) eksplod

提案: 炸  
理由: 「爆」単体は画数が多め(「火＋暴」で19画)なので、やや簡便な「炸」を1文字案として採用。  
学習コスト: 「炸」は“爆発する、破裂する”の意でも使われる常用字(例: 爆炸 “爆発”)。

### 12) erupci

提案: 喷发  
理由: 火山の噴火など“噴き出して発する”に対応する標準的な表現。  
学習コスト: 「喷」は既出で再利用、追加の「发」(日本の「発」に相当)も常用字。

### 13) ŝvel

提案: 胀  
理由: “膨張する・腫れる”意味の代表的簡体字。「胀」は伝統的に「脹」と書かれ、日本語の「膨脹」と同源。  
学習コスト: 肉月(にくづき)＋长(長)の組み合わせで、見た目も比較的わかりやすい。

### 14) puf

提案: 鼓  
理由: 本来は“太鼓”の意味だが、「鼓起」(ふくらむ・膨らませる)と組み合わせて“ぷっくり膨らむ”ニュアンスを表せる。  
学習コスト: 日本語でも「鼓膜」「鼓動」などで馴染みがあり、応用しやすい。

### 15) etend

提案: 伸  
理由: “伸ばす・伸びる”の意味に最も直結する字。「伸展」などにも使われる。  
学習コスト: 日本語と同形でわかりやすい。

### 16) stern

提案: 铺 (※日本の「舗」の簡体字)  
理由: “敷き広げる・平らに展開する”を単字で示すなら「铺」が適切。「展」とも迷うが、「铺开」は特に“敷き広げる”ニュアンスが強い。  
学習コスト: 「铺」は簡体字の常用語(例: “铺床”でベッドメイクの意)。日本語の「店舗」の「舗」と形が近く、覚えやすい面もある。

### 17) kler

提案: 文  
理由: 「教養ある」「文化的な」イメージをざっくり1文字で示すには「文」が最もシンプル。  
学習コスト: 画数が少なく、日本語でも「文化」「文系」などで認知度が高い。

### 18) intelekt

提案: 智力  
理由: 単字で「智(智慧・知恵)」も検討できるが、「智力」は“知的能力・知力”をよりはっきり表す熟語。  
学習コスト: 「智」はやや画数が多いが頻出度は高く、「力」は既知の単純部首で馴染みやすい。

### 19) percept

提案: 感知  
理由: “知覚・感覚的に捉える”のニュアンスを2文字熟語でシンプルに表現。「觉知」も近いが「感知」の方が使用頻度が高い。  
学習コスト: 「感」は日本語でも「感動」「感覚」など常用、「知」は既出(「智」の簡体形や「知道」の知)と共通要素が多い。

### 20) prudent

提案: 慎  
理由: “思慮深い、慎重な”を示す単字として最適。「慎重」という2文字形もあるが、まずは簡潔に「慎」。  
学習コスト: やや画数は多め(13画)だが、日本語の「つつしむ」「慎む」と同形。

### 21) saĝ

提案: 贤  
理由: 「賢(賢明)」の簡体字。“知恵がある、賢い”という意味を端的に表す。  
学習コスト: 日本語「賢」と同源で理解しやすい。

### 22) inteligent

提案: 聪  
理由: 「聰(聰明)」の簡体字で、“耳がよく通る＝頭の回転が速い”イメージ。“聰明(聪明)”＝“聡明”に通じる。  
学習コスト: 若干画数は多い(“耳”＋“总”)が、中国語では「聪明」等で頻繁に用いられ、知名度は高い。

1. lert / 巧 /
   * 選定理由: 「巧」には「巧み・上手・器用・巧妙」などの意味があり、日本語圏・中国語圏ともに「器用さ」「巧みさ」を連想しやすい。画数(5画)も少なく、学習コストが比較的低い。
   * 学習コスト等: 既に他の単語にも転用可能な字形(工＋⺌)を含み、初心者にも比較的わかりやすい。
2. sagac / 敏 /
   * 選定理由: 「敏」には「敏感・機敏・聡明・明敏」などの語感があり、「明敏な」「精明な」というニュアンスに合致。
   * 学習コスト等: 画数(10～11画)はやや多めだが、中国語でも「敏捷」「机敏」と馴染み深く、日本語でも「敏」は日常的に見かける漢字。
3. sprit / 灵 /
   * 選定理由: 中国語の「灵」(繁体字: 靈) は「機敏」「霊妙」「巧み」「機知」などの意味合いも含み、「witty」「機知に富む」ニュアンスに近い。
   * 学習コスト等: 日本語の「霊」とやや字形が異なるため注意が必要だが、画数(7画)は比較的少なめ。
4. memor / 记 /
   * 選定理由: 中国語の「记」(繁体字: 記) は「覚える・記す・記憶する」を含む語で、「(を)覚えている」の語感に適合。
   * 学習コスト等: 画数(5画)が少なく、日本語の「記」と同源で理解しやすい。
5. parker / 记 /
   * 選定理由: 「暗記して」「記憶する」→ 中国語で「记住」「记在心里」など「memorize」を表す場合にも「记」を用いることが多い。
   * 学習コスト等: すでに「memor」で用いた「记」を再利用することで学習負荷を抑えられる。
6. sobr / 节 /
   * 選定理由: 「节」(繁体字: 節) は「節制」「節度」「倹約」などの意味合いを持ち、「飲食における節度」「自制」「節制の」とも関連が深い。
   * 学習コスト等: 画数(5画)が少なく、日本人にも「節」の簡体字として比較的連想しやすい。
7. abstin / 戒 /
   * 選定理由: 「戒」には「戒める・禁戒する・慎む」という意味合いがあり、「禁酒・禁煙(戒烟)」「節制」とのつながりが明確。
   * 学習コスト等: 画数(7画)は比較的抑えめ。日本語でも「警戒」「戒め」として馴染みがある。
8. sekur / 安 /
   * 選定理由: 「安」は「安全・平安」など「安全さ」「安心感」を直接イメージさせる。
   * 学習コスト等: 画数(6画)と比較的少なく、日本語・中国語ともに「安」は初級レベルから認知度が高い。
9. atent / 注 /
   * 選定理由: 中国語の「注意(=to pay attention)」「注目」など、「注」には「注意を向ける」ニュアンスが強い。
   * 学習コスト等: 画数(8画)で、日本語でも「注目」「注視」「注釈」など比較的なじみ深い。
10. sin/gard## / 小心 /

* 選定理由: 中国語で「小心」は「(気をつける・慎重である)」という意味があり、「用心深い」「谨慎」のニュアンスに近い表現。
* 学習コスト等: 2文字だが、どちらも画数(小=3画, 心=4画)は少なめ。「小心」として日常的に“注意”を促す看板などに使われるため、中国語話者には非常に馴染みがある。

1. okult / 玄 /

* 選定理由: 「玄」は「奥深い・神秘的・奥義めいた」意味合いがあり、「玄学(形而上学)」「玄妙」など「occult(神秘術)」を連想しやすい。
* 学習コスト等: 画数(5画)が少なく、日本語でも「玄関」「玄米」などに登場するため字形自体は目にする機会がある。

1. mistik / 玄 /

* 選定理由: 「神秘主義的な / mystic」は「深遠で捉えがたい」「超自然的」という点で「玄」とも親和性が高い。
* 学習コスト等: 「okult」と同じく「玄」で統一し、学習負荷を下げる。必要に応じて区別用の上付き文字等で調整可能。

1. enigm / 谜 /

* 選定理由: 中国語の「谜」(繁体字: 謎) は「謎・なぞなぞ」の意味そのもので、「enigma, riddle」に合致。
* 学習コスト等: 画数(10画)だが、日本語「謎」との対応が明確で意味を推測しやすい。

1. sekret / 秘 /

* 選定理由: 「秘」(繁体字も同形) は「秘密・秘伝・秘めたるもの」などの語感を持ち、「secret(秘密)」と直結しやすい。
* 学習コスト等: 画数(10画)は中程度。「秘密」の熟語としても使われるため、日本語話者にもイメージしやすい。

1. mister / 玄 /

* 選定理由: 「神秘＝神秘的」も「玄妙」の「玄」でまとめるアプローチ。「mister(神秘)」「okult(神秘術)」「mistik(神秘主義)」のように類似概念は同じ字に集約して学習コストを抑える。
* 学習コスト等: 同じ「玄」で統一することで、画数の少ない漢字一つで複数語根をカバー。

1. artifik / 术 /

* 選定理由: 「术」(繁体字: 術) は「技術・方法・策略」などを含む。「artifik(術策)」「技巧的な策」のイメージに対応させやすい。
* 学習コスト等: 画数(4画)と非常に少なく、日本語圏でも「～術(技術・芸術・手術…など)」のイメージから把握しやすい。

1. alkemi / 炼金 /

* 選定理由: 中国語で「炼金术」が「錬金術」にあたるが、やや長いので2文字「炼金」と省略しても「金属を精錬する／錬金術」のニュアンスは伝わる。
* 学習コスト等: 「炼」(9画)、「金」(8画) はそれぞれ基本的な偏旁(火偏、金偏)を含むため、学習の汎用性は比較的高い。

1. alĥemi / 炼金 /

* 選定理由: 「alkemi」と同義の「alĥemi(錬金術)」にも同じ「炼金」を割り当てて統一性を保つ。
* 学習コスト等: 上記と同じく、既出文字の再利用で負荷を抑える。

1. sorĉ / 咒 /

* 選定理由: 中国語「咒」(繁体字: 呪) は「呪文・呪い・まじない」を表し、「魔法をかける」「呪文を唱える」ニュアンスに最適。
* 学習コスト等: 画数(8画)はそこまで多くないが、日本語の「呪」と字形が少し異なるので要注意。

1. magi / 妖术 /

* 選定理由: 一般的に「魔术(魔法)」とも言うが、「魔」の画数が多いため、より画数の少ない「妖(7画)＋术(4画)」で構成する「妖术」は「魔法・妖術・怪しげな術」として広く「マジック」を連想させる。
* 学習コスト等: 2文字だが、すでに「术」は登場済みで使い回し可。「妖」は部首「女」に＋「夭」で比較的シンプル。

1. fikci## / 幻 /

* 選定理由: 「架空の・虚構の」「幻想的」という意味合いで、中国語の「幻」(幻覚・幻想)が最もシンプルかつ適切。
* 学習コスト等: 画数(4画)が非常に少なく、他の「虚」「假」などより簡単。

1. fikci / 幻 /

* 選定理由: 上記「fikci##」と同じく「fiction, 架空・虚構」を表すため「幻」を再利用。
* 学習コスト等: 同じ漢字に統一することで、新たな字を増やさずに済む。

1. fenomen / 现象 / 「現象」を意味する標準的な2文字熟語。日本語「現象」とも対応し、日本人にとっても馴染みやすい / 2文字だがどちらも頻出字で、学習コストは比較的低め。
2. vizi / 幻 / 「幻影・幻視」のニュアンスを表す単漢字。幻想的なビジョンを示唆 / 1文字であり画数(4画)も少なめ。今後「幻」を使い回すこともでき、学習コストを抑えられる。
3. sonĝ / 梦 / 「夢を見る(睡眠中の夢)」という意味に対応する最も直接的な単漢字 / 簡体字は4画で非常にポピュラー。日本語の「夢」とも近いので連想しやすい。
4. imag / 想 / 「想像する」の核心部分「思考・思い描く」を表す簡体字 / 1文字で済み、かつ「想」は「想象」「理想」など多くの語にも使われ、学習コストを分散しやすい。
5. rev / 梦想 / 「空想する・未来志向の夢」のニュアンスに近く、中国語で「夢＋想」で「願望としての夢」をよく表す / 「梦」「想」は既出(sonĝ や imag で使用)のため、新規漢字を増やさずに対応可能。
6. fantazi / 幻想 / 「幻想・ファンタジー」を表す標準的な熟語 / 「幻」と「想」の組合せで、どちらも既出文字(2と4で使用)。追加漢字を増やさない。
7. iluzi / 幻 / 「幻想・錯覚・イリュージョン」。既に「vizi(幻)」で採用の同字を再利用 / 厳密には「幻觉」などが標準表現だが、学習コスト最小化のため1文字「幻」に集約。区別は上付き記号等で対応予定。
8. ideal / 理想 / 「理想」を意味する最も一般的な2文字熟語 / 新出「理」はやや画数があるが頻出字。「想」は既出(4)なので追加負担は1文字分のみ。
9. optativ / 愿 / 「願望・希望」のニュアンスを単漢字で示す(「愿望」の略)。文法上の願望法に近いイメージ / 単語としては「愿望」が標準的だが、1文字化で学習文字数を抑えた。
10. last / 最后 / 「最後の」の意味として中国語で最も一般的 / 2文字ながら「最」「后」ともに頻出字で、派生熟語も多い。
11. ultimat / 最后通牒 / 「最後通告(最後通牒)」の標準的かつ定型的な表現 / 4文字とやや長いが、中国語ではこれが定訳。「最后」は(10)で既出。新出は「通」「牒」。
12. imperfekt / 未完成 / 「不完了・未完了」のニュアンスで「(文法上の)未完成(形)」をイメージ / 3文字だが、「未」「完」「成」はいずれも比較的よく使う常用字。
13. eks / 前 / 「前～」「元～」の意味として単漢字「前」を割当 / ごく初歩的な字で、前置き・時間の「以前」など用途が広く、学習コストを抑えられる。
14. preterit / 过去 / 「過去(形)」を示す最も一般的な中国語 / 「过」と「去」はどちらも非常に頻出。既来の文法概念にも応用しやすい。
15. is / 了 / エスペラントの過去形語尾に対応し、中国語文法上「完了」を示す助詞「了」を転用 / 1文字かつ非常に頻出。学習コストが最小限。
16. l' / 未対応 / 中国語に相当する定冠詞がなく、1文字で代替もしにくいため未対応 / 冠詞そのものを欠く言語仕様のため割当困難。
17. je / 于 / 多目的介詞(なんでも使える前置詞)として、古典的に汎用性の高い「于」を提案 / 現代語では用法が限定的だが、1文字で「～に」「～で」など広範囲をカバーできる。
18. ke / 未対応 / 「～ということ」を導く接続詞に相当する1文字が中国語に存在せず、無理に当てると意味がずれるため保留 / 適切な単字訳なし。
19. ing / 套 / 「さや・ケース・ホルダー」を総称的に表しやすい単字。カバー・スリーブを連想 / 「套」(カバー・セット)は汎用性が高く、袋・鞘より画数も比較的少なめ。
20. um / 么 / 意味が定まらない接尾辞を、「什么」「这么」「那么」等で機能する「么」に準置 / 厳密な意味を持たない助字として、使い回し可能。
21. int / 过 / 文法上「能動・完了分詞」を表す語尾を、完了経験を示す助詞「过」に対応させる / (14)の「过去」と同字。「过」は極めて頻出。
22. it / 被 / 文法上の「受動・完了分詞」に対応し、中国語の典型的な受け身マーカー「被」を割当 / パッシブ表現として広く周知されている字。

### 1) ant

swift

Copy

ant/動今/「動」は“能動”、「今」は“現在(進行)”を示す2文字の組み合わせ/他の分詞系とも組み合わせパターンを揃え、学習コストを低減

* 理由: エスペラントの「能動・現在分詞」を「動 + 今」で表し、能動(動)と現在(今)を直感的に示す。
* 学習コスト: 「動」はやや画数(6画)だが「受」と対になっており、今後ほかの分詞(受動)や時制(現在・未来)とも組み合わせしやすい。

### 2) at

swift

Copy

at/受今/「受」は“受動”、「今」は“現在(進行)”を示す2文字/「ant」と対になる形

* 理由: エスペラントの「受動・現在分詞」を「受 + 今」で表し、受動(受)と現在(今)を直感的に示す。
* 学習コスト: 「ant(動今)」との対比が明快で、他の分詞・時制と組み合わせる際にも分かりやすい。

### 3) ont

swift

Copy

ont/動未/「動」は“能動”、「未」は“未来”を示す2文字/「ant」と対になる形

* 理由: 「ont」は「能動・将来分詞」なので、「動(能動) + 未(まだ実現していない＝未来)」で示す。
* 学習コスト: 既に使っている「動」の流用と、新出「未」(5画)の組み合わせで画数を抑える。

### 4) ot

swift

Copy

ot/受未/「受」は“受動”、「未」は“未来”を示す2文字/「at」と対になる形

* 理由: 「ot」は「受動・将来分詞」なので、「受(受動) + 未(未来)」で示す。
* 学習コスト: ここでも「受」は使い回し。「未」もすでに上記(ont)で登場。

### 5) as

swift

Copy

as/今/「現在形」の語尾を「今」で表現/分詞との組合せよりさらに短縮

* 理由: エスペラント動詞の「現在形」をシンプルに「今」とする。
* 学習コスト: 「今」はすでに分詞で登場している要素なので追加負担なし。

### 6) os

lua

Copy

os/未/「未来形」の語尾を「未」で表現/分詞と同じ文字を流用

* 理由: エスペラント動詞の「未来形」をシンプルに「未」とする。
* 学習コスト: 「未」は(ont, ot)ですでに用いているので追加負担なし。

### 7) la

swift

Copy

la/此/定冠詞を「此」で表現/「ここにある(定まった)もの」というイメージ

* 理由: 中国語の「这(これ)」に近い概念だが、今回は画数(7画)をやや抑えた「此(6画)」を採用。
* 学習コスト: 新出ではあるが、今後「これ」「この」という意味合いで再利用可能。

### 8) us

swift

Copy

us/如/条件法(仮定法)の語尾を「如」で表現/「もし〜ならば」の“如”に由来

* 理由: 中国語の「如果(もし〜なら)」の“如”を抜き出し、仮定・条件を連想しやすいようにした。
* 学習コスト: 6画と比較的少ない。今後「もし」という接続詞的イメージにも転用しやすい。

#### 以下、固有名詞・国名・動物など

個別に漢字1文字で定着しているケース(ロシア=「俄」など)はなるべくそれを優先。  
それ以外の国・人名等は、正式表記(例:「以色列」「欧内斯特」など)にすると学習負担が大きいので、代表的な略字を1文字だけ抽出して当てる方式にしました。

### 9) aŭstrali (オーストラリア)

css

Copy

aŭstrali/澳/中国語で「澳大利亚」の略称/日本語でも「豪州」と混在するが「澳」は華人圏で定着

* 理由: 「澳大利亚」の頭文字「澳」。やや画数(15画)は多いが、中国人には「オーストラリア」の略として通じやすい。
* 学習コスト: 新出だが、地名として認知度が高く、日本語圏でも「澳門(マカオ)」の「澳」として見覚えがある場合が多い。

### 10) izrael (イスラエル)

swift

Copy

izrael/以/正式には「以色列」だが、その頭文字のみを採用/無理に3文字割当しない形

* 理由: 中国語の「以色列」の最初の文字「以」を使う。完全文字化なら「以色列」だが学習コスト増大のため割愛。
* 学習コスト: 「以」は5画で比較的シンプル。すでに中国語文でも「以～」(〜をもって)などの用法があり馴染みやすい。

### 11) ernest (エルネスト)

swift

Copy

ernest/尔/正式な音訳「欧内斯特」から「尔(ěr)」を抜粋

* 理由: 完全音訳は「欧内斯特」(4〜5文字)で学習負荷が大きいため、「尔」(“er”音に近い)だけで置き換え。
* 学習コスト: 5画でそこまで多くなく、中国語では人称代名詞「你/他/尔」などで見かける可能性もある。

### 12) aleksandr (アレクサンダー)

swift

Copy

aleksandr/亚/通常の転写「亚历山大」から最初の「亚」を抜粋

* 理由: 中国語で「アレクサンドロス大王」等を指す「亚历山大」の略字として「亚」。
* 学習コスト: 6画だが、「亚洲(アジア)」の「亚」としても非常に頻度が高い部首の1つ。

### 13) krokodil (アフリカ産ワニ)

bash

Copy

krokodil/鳄/中国語で“ワニ”を指す「鳄」(通常「鳄鱼」とも)/aligatorと同じ字を使い回し

* 理由: 「鳄鱼」の「鳄」を採用。やや画数(14画)は多いが、aligator と同じ字で区別は上付き文字などで対応できる。
* 学習コスト: 他に見当たる簡体形がなく、熟語「鳄鱼」も2文字合計でさらに画数が増えるため1文字で集約。

### 14) aligator (アメリカ産ワニ)

bash

Copy

aligator/鳄/上記と同じく「鳄」/krokodil との区別は後で上付き文字等で対応

* 理由: 同じワニ類として漢字を敢えて分けても学習コストが高まるだけなので再利用。
* 学習コスト: 「krokodil」と同一文字の使い回しで、新たな文字を増やさずに済む。

### 15) rus (ロシア人)

swift

Copy

rus/俄/中国語で「俄罗斯」の略称/日本語でも「露(ロ)」だが華人圏では「俄」が定着

* 理由: ロシアを指す場合、一般には「俄」「俄罗斯」の形が多い。
* 学習コスト: 9画と中程度。国名関連ではよく見かける漢字の一つ。

### 16) pol (ポーランド人)

swift

Copy

pol/波/中国語「波兰」からの略称

* 理由: ポーランドは「波兰」と表記するため、その頭文字「波」を採用。
* 学習コスト: 8画だが、海「波浪」など比較的常用の範囲。

### 17) hispan (スペイン人)

swift

Copy

hispan/西/中国語「西班牙」からの略称

* 理由: スペインを指す「西班牙」の頭文字「西」。
* 学習コスト: 6画で比較的少なく、「西洋」「东西」など日常単語にも多用される。

### 18) franc (フランス人)

swift

Copy

franc/法/中国語「法国」からの略称

* 理由: フランスは「法兰西」「法国」等と書くが、略語としては「法」が最もよく使われる。
* 学習コスト: 8画。日常でも「方法」「法律」など頻出。

### 19) angl (イギリス人)

swift

Copy

angl/英/中国語「英国」からの略称

* 理由: イギリスは「英国」。略称は「英」。
* 学習コスト: 8画だが、「英雄」「英语」など頻繁に出現する。

### 20) german (ドイツ人)

swift

Copy

german/德/中国語「德国」からの略称

* 理由: ドイツは「德国」。略称は「德」。
* 学習コスト: 15画とやや多めだが、ドイツを示す代表文字として定着度が高い。

### 21) meriz (野生のサクランボ)

swift

Copy

meriz/樱/中国語の「樱(樱桃)」/“サクラ”にも通じ、日本人にとっても連想しやすい

* 理由: サクランボ→「樱桃」だが1文字にするなら「樱」(15画)。
* 学習コスト: 画数は多いが、サクラ(桜)の簡体字「樱」は中国語でも非常に頻度が高い。

### 22) api (野生セロリ)

swift

Copy

api/芹/「芹菜(セロリ)」の「芹」を採用/野生・栽培の区別は上付き文字などで対応可

* 理由: セロリ→「芹菜」。1文字なら「芹」で、発音も「qín」。
* 学習コスト: 7画。葉もの野菜としてはわりと一般的な部首構成(艹＋斤)。

1. primol / 报春花 /  
   選定理由: サクラソウ(primrose)の中国語名称として一般的。「报春」(春を告げる)＋「花」で意味も分かりやすい。  
   学習コスト: 3文字とやや多めだが、それぞれ使用頻度が比較的高く、日本人・中国人双方に比較的馴染みのある漢字。
2. ĉeriz / 樱桃 /  
   選定理由: サクランボ(cherry)の標準的な中国語名称。日本語「桜」と同源の簡体字「樱」は日本人にも想起しやすい。  
   学習コスト: 2文字。いずれも頻出の漢字で、果物名としても広く通じる。
3. granat / 石榴 /  
   選定理由: ザクロ(pomegranate)の一般的な中国語名称。「石」は画数少なめで覚えやすい。  
   学習コスト: 2文字。やや画数が多い「榴」を含むが、ザクロの名称として定着した組み合わせ。
4. gros / 醋栗 /  
   選定理由: グースベリー(gooseberry)の標準的呼称の一つ。「栗」はクルミ・クリ系で再登場可能性がある。  
   学習コスト: 2文字。「醋」は“酢”を連想させ日本語話者にもイメージしやすいが、やや画数は多め。
5. framb / 树莓 /  
   選定理由: ラズベリー(raspberry)を中国語では「树莓」と呼ぶことが多い(「覆盆子」より一般的・画数やや少なめ)。  
   学習コスト: 2文字。「树」は植物全般で使い回ししやすく、「莓」はベリー系で後述の単語にも登場する。
6. avel / 榛子 /  
   選定理由: ハシバミ(hazelnut)を中国語で一般に「榛子」と呼ぶ。「榛」は日本語でも“はしばみ”を示す表記例あり。  
   学習コスト: 2文字だが「榛」はやや画数が多い。ナッツ類の単語として一度覚えれば使い回し可能。
7. morus / 桑果 /  
   選定理由: 桑の実(mulberry)は「桑葚(桑椹)」とも書くが、画数を考慮し「桑果」とした方が文字の負担が軽い。意味も分かりやすい。  
   学習コスト: 2文字。「果」は後述の“果実”関連でも再利用可能。
8. kaŝtan / 栗子 /  
   選定理由: 栗(chestnut)の一般的名称。「板栗」とも言うが、画数少なめを優先して「栗子」。  
   学習コスト: 2文字。「栗」はすでに(4)の「醋栗」とも関連しており、学習コストをやや抑えられる。
9. oksikok / 蔓越莓 /  
   選定理由: クランベリー(cranberry)の標準的名称。別名「小红莓」もあるが、正式には「蔓越莓」がよく使われる。  
   学習コスト: 3文字とやや多いが、“ベリー”を示す「莓」は再登場しており、「越」も比較的頻出。
10. rubus / 黑莓 /  
    選定理由: ブラックベリー(blackberry)の中国語で一般的な呼び方。「莓」はベリー系で共通。  
    学習コスト: 2文字。「黑」はよく使われる色彩漢字の一つ。
11. truf / 松露 /  
    選定理由: トリュフ(truffle)の中国語表記。「块菌」という呼び方もあるが、「松露」の方が知名度が高い。  
    学習コスト: 2文字。「松」は樹木関連で他でも使う可能性あり。
12. kres / 西洋菜 /  
    選定理由: クレソン(cress)の呼称には「豆瓣菜」「水田芥」などもあるが、「西洋菜」が分かりやすく比較的画数も少なめ。  
    学習コスト: 3文字。いずれも基本的な漢字で、意味の推測もしやすい。
13. frukt / 果 /  
    選定理由: 「果実」全般を指す意味なら1文字の「果」が最も簡潔。  
    学習コスト: 単字で画数も少なく、すでに他の複合語でも繰り返し登場中。
14. ber / 莓 /  
    選定理由: ベリー類を総称する場合、単独で「莓」をあてるのが分かりやすい。  
    学習コスト: 単字。先の「树莓」「黑莓」「蔓越莓」などと同根なので関連付けやすい。
15. fig / 无花果 /  
    選定理由: イチジク(fig)の中国語名称として定着。「无花」(花がない)＋「果」で由来も覚えやすい。  
    学習コスト: 3文字だが、「花」「果」は既出で頻出漢字。「无」は画数も少なめ。
16. rib / 醋栗 /  
    選定理由: スグリ(currant)も「Ribes」属であり、中国語では「红醋栗」「黑醋栗」など種類ごとに呼ぶが、総称なら「醋栗」。  
    学習コスト: (4)「gros(グースベリー)」と同じ表記を使うことで学習コスト削減。
17. abrikot / 杏 /  
    選定理由: アンズ(apricot)は「杏子」とも書くが、より簡単な1文字「杏」。日本語の“杏”とも対応。  
    学習コスト: 単字で画数少。すでに「樱」「桃」など果物の漢字も習得済みなら混乱は少ない。
18. kokos / 椰子 /  
    選定理由: ヤシの実(coconut)は中国語で「椰子」と書くのが一般的。  
    学習コスト: 2文字。「椰」はやや画数多めだが、熱帯系の植物で認知度が高い。
19. daktil / 椰枣 /  
    選定理由: ナツメヤシ(date palm)の果実は中国語で「椰枣」「海枣」など。ここでは比較的よく見かける「椰枣」を採用。  
    学習コスト: 2文字。「椰」は(18)と同じ、既出漢字との組み合わせ。
20. nuks / 坚果 /  
    選定理由: 「クルミ」ではなくナッツ一般を示す語根なので、中国語で「坚果」が最も適切。  
    学習コスト: 2文字。「坚」は基本的な漢字で、果物の「果」との組み合わせ。
21. jugland / 胡桃 /  
    選定理由: ウォルナット(walnut)は「核桃」「胡桃」とも表記。日本語で「胡桃」と書くため、両言語で関連付けしやすい。  
    学習コスト: 2文字。「胡」は“外国”系を示す漢字としても基礎的。
22. cidoni / 榅桲 /  
    選定理由: マルメロ(quince)の標準的な中国語表記の一つ。ほかに一般的で分かりやすい簡字がないため採用。  
    学習コスト: 2文字だが非常にマイナー。学習負担は大きいので、必要に応じ「未対応」としてもよい候補。

melon / 瓜 /  
選定理由: メロンをはじめとするウリ科果実全般に通じる字として「瓜」は中国語でも「か(瓜)類」を示すうえで汎用性が高い。日本語話者でも「瓜」という字から「ウリ科の果物」であることを連想しやすい。  
学習コストに関する考察: 単一文字で画数も少なく、他のウリ科野菜(キュウリ「黄瓜」、カボチャ「南瓜」など)とも共通の要素を使い回せる。

* prun / 李 /  
  選定理由: 「李」は中国語でプラム(李子)を指す字。日本語でも「李(すもも)」と書くので意味が分かりやすい。  
  学習コストに関する考察: 「木」偏+「子」で構成されており、画数はやや少なめ(7画)。既出(または今後の)漢字とも部首「木」を共有可能。
* persik / 桃 /  
  選定理由: 中国語でモモを指す「桃」が最も直接的。日本語でも「桃(もも)」なので分かりやすい。  
  学習コストに関する考察: 「木」偏が再利用できるため、他の果物(李など)と共通する部首があり学習コストが軽減される。
* oliv / 橄榄 /  
  選定理由: 中国語でオリーブを指す正式名称は「橄榄」。1文字で無理に当てるより、2文字熟語で確実に意味が伝わる形を優先。  
  学習コストに関する考察: 画数はやや多めだが、オリーブを正確に表す単字が存在しないため、妥当な選択と思われる。木偏(「木」の要素)を含むため、多少の部首再利用は可能。
* oranĝ / 橙 /  
  選定理由: オレンジに相当する中国語は「橙(chéng)」「橙子」「柑橘」などがあるが、「橙」一字で“オレンジ色の柑橘”を広く連想できる。日本語でも「橙(だいだい)」があり意味を推測しやすい。  
  学習コストに関する考察: 部首「木」の再利用は可能。1字でまとまるためシンプル。
* pir / 梨 /  
  選定理由: ナシの中国語は「梨(lí)」。日本語でも「梨(なし)」なので、非常に分かりやすい。  
  学習コストに関する考察: 「木」偏の変形を含みつつも単独字なので、比較的覚えやすい。
* mirtel / 蓝莓 /  
  選定理由: ヨーロッパ越橘やブルーベリーなどに対応する中国語として、比較的一般的に通じる「蓝莓」を採用。  
  学習コストに関する考察: 2文字ではあるが、中国語では馴染みのある表記。初出の「蓝」「莓」だが、ほかに転用できる可能性(「蓝」=青系の色など)もある。
* pom / 苹果 /  
  選定理由: リンゴの中国語は「苹果」。1文字の「苹」では意味が限定されにくいので、2文字熟語が望ましい。  
  学習コストに関する考察: 「苹」「果」ともに頻出漢字。特に「果」はメロンなどとも関連する概念(果物全般)としても連想しやすい。
* frag / 草莓 /  
  選定理由: イチゴ(オランダイチゴ)を指す標準的な中国語は「草莓」。  
  学習コストに関する考察: 「草」「莓」それぞれ画数はそこそこあるが、いずれも果物・植物に関連する表現としては中国語で非常に一般的。
* vanil / 香草 /  
  選定理由: バニラに対して中国語では「香草(xiāngcǎo)」と呼ぶことが多い。単字で表す習慣はない。  
  学習コストに関する考察: 「香」「草」はいずれも比較的頻度が高く、食材・香味関連での再利用も見込める。
* banan / 香蕉 /  
  選定理由: バナナの標準的な中国語が「香蕉」。  
  学習コストに関する考察: 「香」は既出(香草)と同じ字で再利用可能。「蕉」もバショウ科関連で使えるかもしれず、そこまで学習負荷は高くない。
* ananas / 菠萝 /  
  選定理由: パイナップルの中国語は「菠萝(bōluó)」。  
  学習コストに関する考察: 「菠」「萝」はともに「胡萝卜(ニンジン)」などでも出現する可能性がある。植物関連での再利用余地はある。
* tomat / 番茄 /  
  選定理由: トマトを示す中国語は「西红柿」または「番茄」。やや画数の少ない「番茄」の方が覚えやすい。  
  学習コストに関する考察: 「番」「茄」は中国語での外来・ナス科関連に多用される。ほか(茄子など)にも共通する偏旁を含む。
* cep / 洋葱 /  
  選定理由: タマネギは標準的に「洋葱(yángcōng)」。  
  学習コストに関する考察: 「葱」はネギ類(韭葱など)でも登場する可能性があるため再利用に期待できる。「洋」も広く使われる字。
* karot / 胡萝卜 /  
  選定理由: ニンジン(キャロット)は中国語で「胡萝卜(húluóbo)」。  
  学習コストに関する考察: 「胡」「萝」「卜」はすでに他でも出てくる可能性あり(「萝」は菠萝、「卜」は白萝卜など)。重複が期待できる。
* pore / 韭葱 /  
  選定理由: 「韭葱(jiǔcōng)」はリーキ(ポロネギ)に対応する名称。  
  学習コストに関する考察: 「葱」は洋葱でも使った字。「韭」は一見珍しいが、中国語でニラ(韭菜)などに使われる常用字の一つ。
* rafan / 白萝卜 /  
  選定理由: 大根(白いラディッシュ)は中国語で「白萝卜(báiluóbo)」が一般的。  
  学習コストに関する考察: 「白」「萝」「卜」はすでに「胡萝卜」(ニンジン)などでも重複使用。「萝」と「卜」は再利用。
* ter/pom## / 土豆 /  
  選定理由: ジャガイモの中国語は「土豆(tǔdòu)」(特に口語で広く使われる)。正式名は「马铃薯」だが、字数・画数が多いので「土豆」を推奨。  
  学習コストに関する考察: 「土」「豆」はどちらも非常に基本的な字であり、多方面で再利用されやすい。
* kukum / 黄瓜 /  
  選定理由: キュウリは中国語で「黄瓜(huángguā)」。  
  学習コストに関する考察: 「瓜」はmelon(瓜)との共通要素。「黄」自体も色を示す頻出漢字のため再利用度は高い。
* brasik / 甘蓝 /  
  選定理由: キャベツを中国語で表す場合「卷心菜」「洋白菜」など色々あるが、画数を抑えるなら「甘蓝(gānlán)」がシンプル。  
  学習コストに関する考察: 「甘」は基本的な字で再利用されやすい。「蓝」もmirtel(蓝莓)で登場しており、重複利用できる。
* kukurb / 南瓜 /  
  選定理由: カボチャ(南瓜)は中国語で「南瓜(nánguā)」。  
  学習コストに関する考察: 「瓜」は既出の共通文字。「南」も方向などで再利用度があるため、学習効率的にも悪くない。
* elizabet / 伊丽莎白 /  
  選定理由: エリザベスの中国語表記は一般的に「伊丽莎白」。単字での表記は存在せず、外来音訳として確立。  
  学習コストに関する考察: 字数は多いが、中国語での人名表記のスタンダード。どれも比較的常用される漢字(特に人名音訳)なので、中国語話者には違和感がない。

alibi / 不在场

* 選定理由: 中国語で「アリバイ」を表す際によく使われる「不在场(证明)」の略。「不在」だけでは「そこに居ない」程度の意味に留まりがちなので、「不在场」としておく方が「アリバイ」に近いニュアンスを保ちやすい。
* 学習コスト: 「不」「在」「场」は比較的使用頻度の高い漢字であり、他でも転用可能。総画数は多くないが3文字なので、学習コストは中程度。

1. arabesk / 花纹

* 選定理由: 「arabesque(アラベスク)」は植物・蔓などの曲線状装飾を指すため、中国語で一般的に「蔓藤花纹」とも訳される。ただし「蔓藤花纹」は画数が多めなので、「花纹(花の模様)」と簡略化。
* 学習コスト: 「花」「纹」はどちらも日常使用頻度が比較的高い漢字。2文字で意味もそこそこ伝わるため、比較的導入しやすい。

1. alkov / 凹室

* 選定理由: 「アルコーブ(alcove)」＝壁の一部が凹んだ小部屋。中国語では「壁龛」「凹室」などが候補だが、「壁龛」はややマニアックかつ「龛」の画数も多め。「凹室」の方が文字の組み合わせがシンプル。
* 学習コスト: 「凹」はやや特殊だが画数自体は少ない。「室」も日常的。2文字でそこまで大きな負担にはならない。

1. arnik / 山金车

* 選定理由: 「アルニカ(arnica)」の中国名としては「山金车」が定訳。日本語由来のイメージは薄いが、中国語辞書で「アルニカ」を引くとほぼこの表記が出る。
* 学習コスト: 「山」「金」「车」いずれも頻出で転用性が高い。3文字だが総画数は比較的抑えめ。

1. angelik / 当归

* 選定理由: 「アンゼリカ(Angelica)」は複数種あるが、中国の代表的な薬用種「当归(Angelica sinensis)」で広く知られる。日本語ではそのまま「トウキ」として知られており、一定の認知度がある。
* 学習コスト: 「当」「归」はどちらも常用字。「当归」としてまとめることで2文字に収まる。

1. atripl / 灰藜

* 選定理由: 「ハマアカザ(Atriplex)」の中国語には「滨藜」「灰藜」などがある。どちらも“藜”が含まれるが、後半を同じ字で表すため、字数は2文字で済む。
* 学習コスト: 「灰」は画数が少ないが、「藜」はやや画数が多く低頻度。ただし同属植物名で“藜”を流用すれば意味が通りやすい。

1. akaci / 金合欢

* 選定理由: 「アカシア(acacia)」は中国語で「金合欢(树)」と呼ばれるのが標準的。「槐(huái)」とは別なので注意が必要。
* 学習コスト: 「金」「合」「欢」はいずれも中～高頻度字。3文字だが汎用性は比較的高い。

1. aspid / 眼镜蛇

* 選定理由: 「asp(aspid)」は一般に「コブラ」系統として扱われる。特にエジプトコブラは「埃及眼镜蛇」だが長いので「眼镜蛇(コブラ)」に集約。
* 学習コスト: 「眼」「镜」「蛇」は画数がやや多いが、日常会話でもよく登場する(特に“眼镜”=メガネ、“蛇”=ヘビ)。3文字で妥協。

1. utopi / 乌托邦

* 選定理由: 「ユートピア(utopia)」の中国語訳は「乌托邦」が定着。
* 学習コスト: 「乌」「托」「邦」はいずれも比較的よく出現する。3文字で読み書きの負担は中程度。

1. esperant / 世界语

* 選定理由: エスペラント語の中国語名「世界语」が最も広く知られる正式名(簡体字も同じ)。
* 学習コスト: 「世」「界」「语」はいずれも基本漢字。3文字ながら共通語彙として学習しやすい。

1. eŭrop / 欧洲

* 選定理由: 「ヨーロッパ(Europe)」は中国語で「欧洲」が定着。
* 学習コスト: 「欧」「洲」は地名や外来国名などで頻繁に登場し、転用も可能。2文字で比較的シンプル。

1. amfor / 双耳瓶

* 選定理由: アンフォラ(amphora)は「両側に取っ手(耳)を持つ壺」の意で、中国語では「双耳瓶」と表記するのが一般的。
* 学習コスト: 「双」「耳」「瓶」はそれぞれよく使われる常用字。3文字構成。

1. ambrozi / 神食

* 選定理由: 「ambrosia」は神話の「神の食物」を指す。中国語で「美味佳肴」などとも訳せるが、やや一般的すぎるので「神食」という二字で“神の食べ物”感を出して簡略化。
* 学習コスト: 「神」「食」はどちらも非常に基本的な字。2文字で覚えやすい。

1. obol / 奥波尔

* 選定理由: 古代ギリシャの「オボロス(obol)」は中国語で定訳があまり定着していないため、音訳「奥波尔」を仮置き。
* 学習コスト: 「奥」「波」「尔」は音訳でよく用いられる漢字。3文字とやや多いが、外来語表記としては妥当。

1. ur / 原牛

* 選定理由: 「aurochs(ヨーロッパ原野牛)」は中国語で「原牛」と呼ばれる場合がある。意味的にも「野牛」より限定的。
* 学習コスト: 「原」「牛」は基本字。2文字でわかりやすい。

1. ogiv / 尖拱

* 選定理由: 「オジーブ(建築の尖ったアーチ)」は中国語で「尖拱」「尖券」などと訳される。ここでは「尖拱」が簡明。
* 学習コスト: 「尖」「拱」はやや専門的だが画数はさほど多くない。2文字なので比較的負担は軽い。

1. hoboj / 双簧管

* 選定理由: 「オーボエ(oboe)」は中国語で「双簧管」が標準。
* 学習コスト: 「双」「簧」「管」は音楽や道具関連で比較的出現。「簧」の画数は多めだが、妥当な訳語。

1. oaz / 绿洲

* 選定理由: 「オアシス(oasis)」＝「绿洲」が定訳。
* 学習コスト: 「绿」「洲」は地理用語で頻出。2文字で、全体の画数もそこそこ。

1. ozon / 臭氧

* 選定理由: 「オゾン(ozone)」＝「臭氧」が中国語の定訳。
* 学習コスト: 「臭」「氧」は化学や日常でも見かけるが、やや画数多め。しかし2文字に収まる。

1. tarif / 关税表

* 選定理由: 「tarif(関税表や料金表)」は中国語で「关税表」「税率表」「价目表」などがあるが、関税に特化するなら「关税表」が適切。
* 学習コスト: 「关」「税」「表」はいずれも高頻度。3文字だが汎用性は大きい。

1. akciz / 消费税

* 選定理由: 「akcizo(エキサイズ税・消費税)」に当たる中国語は「消费税」。
* 学習コスト: 「消」「费」「税」はどれも常用字。既に「税」は他でも使っているので重複利用できる。

1. impost / 税

* 選定理由: 「imposto(税一般)」なので、もっともシンプルに「税」に集約。
* 学習コスト: 単独1文字。既出の「税」と同じなので学習コストを抑えられる。

1. dogan / 关税 / 「関税」を意味する標準的な熟語であり、日本語話者も直感的に理解しやすい / 「关」(関)と「税」はどちらも使用頻度が高く、今後他の語根にも応用できる可能性がある
   * 「dogan」は「関税(customs duty)」の意味で、現代中国語での定訳は「关税」または「海关(=税関)」。ただし“関税”という税金自体を指すなら「关税」がより明確。
   * 日本語の「関税」と同じ漢字由来なので、日本人学習者にもイメージしやすい。
2. aĝi / 差价 / 為替差益や利ざや(アジオ)など、価格の差(プレミアム)を表す際に用いられる語として近い / 「差」と「价」はどちらも常用字であり、今後も取引関連などで再利用の可能性が高い
   * 厳密には金融用語として「贴水」などもあるが、「差价(差額・スプレッド)」の方が広義のプレミアムや差益を表現しやすく、汎用性が高い。
   * 日本語で「差」「価(价の簡体字)」の組み合わせはイメージが掴みやすい。
3. helik / 蜗牛 / カタツムリを意味する最も一般的な表現 / 「蜗」は画数は多めだが、虫偏+牛で成り立ち、他の虫関連語にも発展しやすい
   * 単一漢字で「カタツムリ」を表すものは存在しないため、熟語「蜗牛」が基本。
   * 日本語でも「蝸牛(かたつむり)」と同語源なので、連想はしやすい。
4. trust / 信托 / 金融商品の「信託」「トラスト」を指す際の標準的な用語 / 「信」と「托」はそれぞれ使用頻度が高く、他の商業・金融用語でも再利用が期待できる
   * 「相信」は「信用する・信じる」の意で商業上の“トラスト”とはずれるため、金融機関用語としては「信托」が適切。
   * 日本語の「信託」とほぼ同じ構造で分かりやすい。
5. makler / 经纪 / ブローカー(仲買)を指す際の簡潔な表現 / 「经」「纪」は中国語の基本語彙であり、派生的に「经济(経済)」「经纪人(ブローカー)」などとも関連付けられる
   * 本来「经纪人」とするほうが“仲買人”をより明確に表せるが、動詞としての仲介行為も含めて「经纪」で要領を得やすい。
   * 日本人にも「経紀→経理・経済」に通じるニュアンスである程度イメージしやすい。
6. komerc / 商 / 商売・商業の概念を1文字で端的に表せる / 「商」は日本語でも「商売」「商品」などでおなじみの漢字で、学習ハードルが低い
   * 中国語では「经商(商売をする)」「商业(ビジネス)」などの形で広く使われる語根。
   * 単独の「商」だけでも“ビジネス・商い”の意を象徴し、後続の複合語に応用可能。
7. negoc / 交易 / 取引や売買を表す際に用いられる代表的な語 / 「交」(交換・交わる)と「易」(易・交易)という漢字の組み合わせで、非常に汎用性が高い
   * 「negoc」は“ネゴシエート(交渉)”の意味合いも含むが、中国語で「交」「易」を使えば多くの“交換・取引”概念をカバー可能。
   * 日本語の「交易」もあるため、イメージがつきやすい。
8. fabrik / 工厂 / 「工場」を表す最も一般的な簡体字表現 / 「工」は“仕事”“作業”、「厂」は“工場・作業所”を示すため学習者にも関連付けがしやすい
   * 単に「厂」でも“工場”の意はあるが、簡体字独特で日本語学習者にやや馴染みが薄い。二文字の「工厂」のほうが伝わりやすい。
   * 「工」と「厂」は生産関連の他語根にも組み合わせ可能で汎用性が高い。
9. manufaktur / 制造厂 / “製造工場”を意味する標準的な組み合わせ / 「制」「造」「厂」はどれも工業・製造分野で頻用されるため、他語根にも流用しやすい
   * 「手工厂」なども考え得るが標準用語としてはやや不自然。中国語では「制造厂」がわかりやすい。
   * 「制(制度・製作)」「造(作る・創造)」「厂(工場)」が組み合わさるため、学習の際はすべて生産関連で結びつけられる。
10. maŝin / 机器 / “機械”を表す最も一般的な語 / 「机」は“機”や“机(つくえ)”など広義を持ち、「器」は道具や装置全般を示すため組み合わせとして理解しやすい

* 「机械」という選択肢もあるが、「机器」のほうが文字形がやや簡単(「器」は日本語にも馴染みがある)。
* 「机」や「器」は他の機械・道具関連の語根でも再利用可能。

1. aŭtomat / 自动机 / “自動機・自動装置”を表す汎用的な語 / 「自(自己)」「动(動く)」「机(機械・装置)」の3要素で構成されるため、他分野でも応用しやすい

* 「自动」だけだと形容詞(“自動の”)の意味が強いので、装置を示すなら「自动机」が分かりやすい。
* 「机」は上記「机器」との共通要素があり学習コストを下げられる。

1. central / 电站 / “(中央)発電所・電力施設”としての代表的訳 / 「电(電)」と「站(駅・ステーション)」で構成され、特に動力源としての“発電所”を想起しやすい

* 中国語で動力源の“中央施設(central power station)”は一般に「电站」や「发电站」。
* 「站」は“駅”を表すが、各種施設(例えば「加油站」=ガソリンスタンド)に広く応用されるため汎用性がある。

1. motor / 马达 / 中国語で日常的に“モーター”を指す音訳・略称 / 「马」(馬)は頻度が高く、「达」(達)も日本語の“到達”などと関連づけできる

* 正式には「电动机」「发动机」等もあるが、口語的かつ短く広く定着しているのは「马达」。
* 画数も多くはなく、今後ほかの語根に転用可能(例:「达成」など)。

1. lokomobil / 牵引机 / “牽引する機関”の意で、移動式蒸気機関(トラクションエンジン)に近い / 「牵」(引く)と「引」「机」などは他の動力関連語根とも結び付けやすい

* 完全に「移動式蒸汽機関」とすると「移动式蒸汽机」のように文字数が多くなりすぎるため、やや省略形として「牵引机」。
* 中国語の「牵引车(トラクター)」などとも関連があり、学習者がイメージをつかみやすい。

1. asperg / 洒 / “(水を)まく・撒く”を意味する動詞として簡潔 / 「氵(水偏)」を含むため、「水」関連語との関連付けがしやすく学習負荷を低減

* 「撒」も候補だが画数がやや多く、日本語では「撒」自体がなじみが薄い。簡体字の「洒」は比較的画数が少ない。
* 今後、液体関連の動詞で同じ偏旁を用いることで一貫性を持たせることが可能。

1. akv / 水 / “水”そのものを表す最も基本的な一文字 / 非漢字圏含め、学習の優先度が高く汎用性も最大

* どの漢字圏でも最初に学ぶような基本字であり、関連語(氵偏など)を学ぶ基盤ともなる。
* 画数も4画で少なく、新規学習者への負担も小さい。

1. hidrostatik / 静水 / “静止している水”というイメージで部分的に対応 / 本来は「水静力学」のように4文字以上になるが、学習コストを鑑み簡略化 / 既出の「水」「静」の組み合わせで応用可能

* 正式には「静水力学」「流体静力学」等が一般的だが、あまりに長くなるためここでは「静水」を提案。
* 概念の厳密さよりも、すでに登場した「水」と、比較的分かりやすい「静」を組み合わせるメリットを優先。

1. likv / 液 / 液体を示す代表的な単漢字 / 日本語にも「液体」「血液」などの形で馴染みがあり、画数はやや多いが需要が高い

* 二文字「液体」とする手もあるが、単純化のため一文字「液」。
* 既出の水偏(氵)を含むため、「akv(=水)」との関連づけが容易。

1. fluid / 流体 / “流れる体(物質)”の意味をそのまま表現 / 「流」や「体」はいずれも頻出漢字で汎用性が高い

* 一文字で表すなら「流」だが、名詞としての“流体”には「流体」が標準。
* すでに「流」関連は他(流れる、急流など)とも共通化できるので学習コストは比較的低め。

1. kurent / 电流 / 電流を示す代表的な二文字熟語 / 「电」と「流」は既出・既習の組み合わせで意味把握がしやすい

* 「电」は“電気”、「流」は“流れ”で直感的に“電気の流れ＝電流”を表す。
* どちらも非常に基本的な漢字なので、他のエネルギー系語根にも転用が可能。

1. flu / 流 / “流れる”という動きを一文字で端的に表せる / すでに「电流」「流体」「激流」などでも登場しており学習コストが低い

* 動詞として“流れる”を示したい場合、単に「流」で表記するのはシンプルで分かりやすい。
* 今後も「流行」「流出」「流入」など派生が多彩で、学習効果が高い。

1. torent / 激流 / “急流・激しい流れ”を指す標準的な語 / 「激」は日本語でも“激しい”と同義で、すでに登場した「流」と組み合わせやすい

* 単に「急流」でも近いが、より勢いが強いイメージを出すため「激流」が一般的。
* すでに「流」が登場しており、そこに「激」を組み合わせるだけで“急流”ニュアンスが得られる。

frost / 霜 /  
選定理由: 「霜」は日本語・中国語双方で「frost」の意味を表す代表的な漢字。  
学習コスト: 同じ「霜」を「prujn」にも割り当てることで、文字の種類を抑えられる。

1. prujn / 霜 /  
   選定理由: 具体的な「霜(しも)」の現象を示す漢字として適切。  
   学習コスト: 「frost」と同字(霜)を再利用することで負担を軽減できる。
2. neĝ / 雪 /  
   選定理由: 雪を直接表し、日本語・中国語ともに広く認知される。  
   学習コスト: 比較的頻出する漢字で、学習負荷も小さめ。
3. glaci / 冰 /  
   選定理由: 「氷」を意味する簡体字。画数も少なく、視覚的に覚えやすい。  
   学習コスト: 日本語の「氷」の簡体字形であり、転用もしやすい。
4. vintr / 冬 /  
   選定理由: 「冬」を直接表し、日中ともに通用する季節名。  
   学習コスト: 5画と少なく、学習負担は低い。
5. aŭtun / 秋 /  
   選定理由: 秋を示す代表的な漢字で、日中共通の概念。  
   学習コスト: 9画とやや多めだが、季節名としての使用頻度は高い。
6. somer / 夏 /  
   選定理由: 「夏」を示す基本的な季節漢字。日本語・中国語圏ともに認知度高。  
   学習コスト: 10画程度で、慣れやすい。
7. printemp / 春 /  
   選定理由: 春を示す代表的な漢字。日本語・中国語でほぼ共通の認識。  
   学習コスト: 9画だが季節名として馴染み深い。
8. tromb / 龙卷风 /  
   選定理由: 中国語で「竜巻」を表す標準的表記。「龙(竜) + 卷 + 风(風)」。  
   学習コスト: 3文字だが「风」は他語根(ventなど)とも共通で再利用可。
9. diluv / 洪水 /  
   選定理由: 「大洪水」「ノアの洪水」のイメージに最適。中国語でも一般的な言い方。  
   学習コスト: 2文字だがどちらも頻出度が高く、意味もつかみやすい。
10. tondr / 雷 /  
    選定理由: 雷(かみなり)を直接表す漢字。日中双方で意味が一致。  
    学習コスト: 13画とやや多いが、日本語にも馴染み深い常用字。
11. tempest / 暴风雨 /  
    選定理由: 「暴風雨」をそのまま表す中国語の一般的表現。  
    学習コスト: 3文字だが「风(風)」「雨」は既出で再利用できる。
12. uragan / 飓风 /  
    選定理由: 中国語で「ハリケーン」を表す標準的単語。  
    学習コスト: 「飓」はやや画数多め(9画)だが、「风」は再利用可能。
13. zefir / 和风 /  
    選定理由: 穏やかな「そよ風」を示す表現として中国語にもある。  
    学習コスト: 2文字構成だが、「风」を他でも使うので学習負担は抑えられる。
14. ond / 波 /  
    選定理由: 「波」を意味する単一漢字で、日中共通のイメージ。  
    学習コスト: 8画と比較的シンプルで使いやすい。
15. blov / 吹 /  
    選定理由: 「吹く」を意味する基本動詞。中国語でも日常的に使う漢字。  
    学習コスト: 7画と少なく、覚えやすい。
16. vent / 风 /  
    選定理由: 簡体字で「風」を最も基本的に表す。「風」の簡体形。  
    学習コスト: 4画と非常に少なく、再利用価値が高い。
17. ciklon / 气旋(→気旋) /

* ※以下、簡体字で「气旋」としてください。  
  選定理由: 中国語でサイクロンを指す代表的表現。  
  学習コスト: 2文字だが「气」は画数4、「旋」は11画でやや多め。専門用語として妥当。

1. nub / 云 /  
   選定理由: 簡体字の「雲」。漢字圏では「雲」の簡体として広く認知。  
   学習コスト: 4画で非常にシンプル。
2. nebul / 雾 /  
   選定理由: 「霧」を意味する簡体字。  
   学習コスト: 8画で天候用語としてもよく使われる。
3. pluv / 雨 /  
   選定理由: 雨を意味する最も基本的な漢字。  
   学習コスト: 8画だが、気象漢字として高頻度。
4. hajl / 冰雹 /  
   選定理由: 「雹」単独でも意味は通じるが、中国語では「冰雹」が一般的。  
   学習コスト: 「冰」はすでに(4番: glaci)で使用済み。新たに「雹」だけ覚えればOK。

aŭkci / 拍卖 /

* + 選定理由: 中国語で「オークション」は「拍卖」が一般的。
  + 学習コスト等: 「拍(拍手など)」と「卖(売)」の組み合わせで、意味も推測しやすい。すでに「卖」を他語根で利用しているため、重複利用可。

1. marĉand / 讲价 /
   * 選定理由: 「讨价还价(値段交渉)」より短く頻用度も高い。「讲(講)」+「价(價)」で「値段を交渉する」意。
   * 学習コスト等: 二文字でシンプル。「价」は「価格」を想起しやすく、日本人にも「價」の旧字として連想しやすい。
2. vend / 卖 /
   * 選定理由: 中国語の「売る」に相当する簡体字で、最も基本的な「卖」を採用。
   * 学習コスト等: 一文字で画数も少なめ(7画)。以降も「卖」を再利用可能。
3. kolport / 叫卖 /
   * 選定理由: 「行商する・呼び売りする」に相当する表現。「叫(叫ぶ)＋卖(売る)」で、通りで声をかけながら物を売るイメージ。
   * 学習コスト等: 「卖」は既出再利用。「叫」(5画)も比較的簡単。
4. brokant / 二手 /
   * 選定理由: 「古物・中古品(を扱う)」のニュアンスとして、中国語では「二手～」(二手车＝中古車 等)が広く使われる。
   * 学習コスト等: 「二(2画)」「手(4画)」はいずれも画数が少なく、学習負担も小さい。
5. ĉarlatan / 庸医 /
   * 選定理由: 大道薬売り・いかさま医などを指す場合、中国語で「庸医(やぶ医者)」が比較的わかりやすい。
   * 学習コスト等: 二文字だが、どちらも中級程度の漢字。「骗子(詐欺師)」なども候補だが、薬売りのイメージを残すために「医」を含むこちらを選択。
6. komiz / 店员 /
   * 選定理由: 「店員、店のスタッフ」に相当するごく一般的な言い方。
   * 学習コスト等: 「店(8画)」は後述の「店(商店)」にも転用可能。「员(員)」は簡体化でやや形が違うが、意味は類推しやすい。
7. magazen / 仓库 /
   * 選定理由: 倉庫・大型倉庫を表す標準的な簡体字表現。「百货公司(デパート)」もありうるが、和訳が「倉庫」なので「仓库」を採用。
   * 学習コスト等: 「仓(4画)」「库(10画)」。どちらも比較的よく使われる字。
8. butik / 店 /
   * 選定理由: 「店」「店舗」を最もシンプルに表せる一字。
   * 学習コスト等: 既に「店员」の「店」と同じ字で重複利用でき、学習コストが抑えられる。
9. akci / 股票 /
   * 選定理由: 「株式」を示す場合、中国では「股票」が最も一般的。
   * 学習コスト等: 「股(8画)」「票(8画)」でやや画数はあるが、金融関連用語としては標準的。後続の「bors」との組み合わせ(股+市)で字を一部再利用。
10. bors / 股市 /
    * 選定理由: 本来は「取引所」の意味だが、簡便に「股市(株式市場)」としたほうが字数を抑えられる。
    * 学習コスト等: 「股」は前項「股票」と共通。新出は「市(5画)」のみで済む。
11. foir / 市场 /
    * 選定理由: 「定期市」「見本市」なども含むが、中国語で広義の「(大きな)市場」は「市场」が便利。
    * 学習コスト等: 「市(5画)」「场(6画)」。この先、類似の「bazar」「merkat」にも流用して文字を絞る。
12. bazar / 市场 /
    * 選定理由: 同じく「市場・バザール」の意味で「市场」を再利用。
    * 学習コスト等: 新たな漢字増加なし。前項と同じ理由で学習コストを抑えられる。
13. merkat / 市场 /
    * 選定理由: いわゆる「マーケット」に相当。こちらも統一して「市场」。
    * 学習コスト等: 前項までと同じ表記を使うため、追加の学習負担なし。
14. farm / 租种 /
    * 選定理由: 「(土地を)賃借して耕す」を表す簡体字表現として「租种(地を借りて耕作)」。
    * 学習コスト等: 「租(10画)」「种(7画)」。後述の「lu(賃借)」で「租」を再利用できる。
15. lu / 租 /
    * 選定理由: 「賃借する、借りる」の最も直接的な単字。「租用」「租赁」などもあるが、一文字で済む「租」を採用。
    * 学習コスト等: 「farm(租种)」ですでに出てくる「租」を再利用。
16. hipotek / 抵押 /
    * 選定理由: 「抵当・抵当に入れる」「担保に入れる」は中国語で「抵押」が一般的。
    * 学習コスト等: 二文字だが金融用語として頻出度は高い。画数(各8画)も許容範囲。
17. koncesi / 特许 /
    * 選定理由: 「払い下げ」「フランチャイズ」「特許的な許可」のニュアンスとして「特许」が比較的通じやすい(例: 特许经营)。
    * 学習コスト等: 「特(10画)」「许(5画)」。法・権利関係の単語としてはわかりやすい。
18. solvent / 未対応 /
    * 選定理由: 「支払能力がある」「ソルベント(法商)」に対応する短い簡体字が定着していないため、今回は見送る。
    * 学習コスト等: 無理に複数字を組み合わせると煩雑な表現になりがちなので「未対応」。
19. kvit / 无债 /
    * 選定理由: 「借金のない」「借りを清算し終えた」状態を一番ストレートに表すと「无债(債務が無い)」。
    * 学習コスト等: 「无(4画)」「债(10画)」。次の「kreditor(债主)」でも「债」を再利用。
20. kreditor / 债主 /
    * 選定理由: 正式には「债权人」もあるが、二文字で済む「债主(債の主)」も常用される。
    * 学習コスト等: 「债」は上記「无债」と共通。新出は「主(5画)」のみ。
21. ŝuld / 欠 /
    * 選定理由: 「負う・欠けがある」意味合いを1文字で示すなら「欠」が最適。
    * 学習コスト等: 画数(4画)も少なく、「債務を負う」イメージが直接的。

debet

* + 提案: 借
  + 理由: 中国語の会計では「借方」が「debit」に相当し、単漢字としては「借」が広く用いられます。
  + 学習コスト: 「prunt(貸し借り)」でも同じ「借」を流用予定。重複利用により漢字の種類を抑えられます。

1. obligaci
   * 提案: 债券
   * 理由: 中国語で「債券(债券)」が「bond(債券)」の標準的な表現。
   * 学習コスト: 2文字だが、「债」は債務関連、「券」は証書・切符など幅広い文脈で使われるため、金融関連で再利用しやすい。
2. prunt
   * 提案: 借
   * 理由: 「prunti」は「借りる／貸す」を含意し、中国語の「借」に対応。
   * 学習コスト: 「debet」と同じ文字「借」を再利用。意味の違いは上付き文字等で区別する想定。
3. kredit
   * 提案: 贷
   * 理由: 中国語会計用語で貸方=「贷方」となるため、credit側を示す際に「贷」が使われる。
   * 学習コスト: 単漢字1文字。金融分野での「信用貸し」「贷款」などとも関連が深く、学習価値が高い。
4. polis
   * 提案: 保单
   * 理由: 「保険証券」を中国語では「保险单」または略して「保单」ともいう。ここでは画数を抑えるため2文字「保单」を採用。
   * 学習コスト: 「保」は後述の「保証」「保険」などとも共通し、学習効率を高められる。
5. kaŭci
   * 提案: 保证金
   * 理由: 保釈金・保証金・デポジットなど「担保金」を幅広く指せる中国語が「保证金」。
   * 学習コスト: すでに出た「保」「证」を再利用し、さらに「金」は今後金融関連で頻出する可能性が高いため有用。
6. asekur
   * 提案: 保险
   * 理由: 中国語で「保険」は「保险」。動詞的にも「(に)保険をかける」は「投保」などと言うが、名詞の基本形として「保险」が最適。
   * 学習コスト: 「保」は既出。新たに「险」が加わるが、中国語では「风险(リスク)」など派生も多く有用。
7. garanti
   * 提案: 保证
   * 理由: 「保証する」は中国語で「保证」。
   * 学習コスト: 「保」「证」は既出活用(例: 保证金)。重複利用によって学習を効率化。
8. bilanc
   * 提案: 资产负债表
   * 理由: 貸借対照表の標準的中国語は「资产负债表」。
   * 学習コスト: 5文字でやや長いが、中国語ではこの表記が定着している。既出「债」を再利用できる。今後「负」「资」「产」「表」が他の経済用語にも展開できる余地あり。
9. kont

* 提案: 账户
* 理由: 「口座」や「アカウント」に相当する語としては「账户」(あるいは「账号」)が一般的。
* 学習コスト: 2文字だが、金融やネットサービス等でも頻出する「账」「户」は汎用性が高い。

1. sald

* 提案: 余额
* 理由: 口座の「残高」や「差引高」は中国語で「余额」が一般的。
* 学習コスト: 新出の「余」「额」だが、「金额」「额外」など関連語にも派生可能。

1. klav

* 提案: 键
* 理由: キーボードやピアノの鍵盤の「キー」は中国語で「键」(あるいは「按键」)。1文字で対応しやすい。
* 学習コスト: 単漢字1文字で明快。機械系用語でも「键」は多用される。

1. fortepian

* 提案: 大钢琴
* 理由: 「グランドピアノ」に相当する一般的な呼称は「三角钢琴」だが、より画数を抑えるなら「大钢琴」も用いられる。
* 学習コスト: 「钢」「琴」は後述の「钢琴(ピアノ)」と共通。再利用しやすい。

1. pian

* 提案: 钢琴
* 理由: ピアノ全般を表す中国語は「钢琴」。
* 学習コスト: 「钢」「琴」は音楽系の他語(例: 小提琴)でも出現しやすく、共通要素となる。

1. violon

* 提案: 小提琴
* 理由: バイオリンは中国語で「小提琴」が一般的。
* 学習コスト: 「小」は画数が少なく既知の可能性も高い。「提」「琴」は再利用範囲が広い(例: 钢琴、手风琴など)。

1. pantomim

* 提案: 哑剧
* 理由: パントマイムに近い中国語表現として「哑剧」がある(文字通り「台詞のない劇」)。
* 学習コスト: 「哑」「剧」は劇関係用語で再利用可能。「剧」は今後も登場する見込み大。

1. pulĉinel

* 提案: 小丑
* 理由: 本来「プルチネッラ」はイタリア喜劇の道化役名だが、中国語に定訳が乏しいため、近似の「道化＝小丑」で対応。
* 学習コスト: 単純な2文字で、滑稽な役柄全般に適用しやすい。

1. epilog

* 提案: 后记
* 理由: 書物や劇の「エピローグ」「後書き」に近い中国語として「后记」が使われる。舞台なら「收场白」などもあるが、文字数を抑え「后记」を採用。
* 学習コスト: 「后」「记」は比較的画数が少なく、「记」は記録やメモ関連で再利用しやすい。

1. prolog

* 提案: 序幕
* 理由: 舞台劇の「プロローグ」「幕開き」には中国語で「序幕」が一般的。
* 学習コスト: 「序」「幕」はともに他の演劇・文章構成で使う可能性があり、学習価値が高い。

1. melodram

* 提案: 情节剧
* 理由: メロドラマ=通俗的・情緒的な筋立てを持つ劇を中国語で「情节剧」と呼ぶことが多い。
* 学習コスト: 「情」「节」「剧」は既出要素(「剧」など)を含み、他の感情表現や節目表現にも展開可能。

1. teatr

* 提案: 剧院
* 理由: 劇場やシアターに該当する最も一般的な表記は「剧院」。
* 学習コスト: 「剧」は既出。「院」は公共施設(医院・学院など)でも使われ、汎用性がある。

1. oper

* 提案: 歌剧
* 理由: オペラは中国語で「歌剧」(文字通り「歌う劇」)。
* 学習コスト: 「歌」は新出だが日常でも用いられ、「剧」は再利用済み。

final / 终 /  
選定理由: 「終わり」「最終」を表す単漢字として簡潔。劇のフィナーレのニュアンスとしても比較的分かりやすい。  
学習コスト: 1文字で済み、画数(6画)も大きくない。部首「纟(糸へん)」は別の語根にも流用できる可能性あり。

1. parter / 底层 /  
   選定理由: 「底层」は「建物の最下層」「平土間にあたる部分」を示す表現として中国語で一般的。  
   学習コスト: 2文字。「底」は後述の「底座」(#16, #17)でも再利用予定。「层」(尸部)も比較的よく使われる。
2. scen / 场 /  
   選定理由: 「场」は「場面」「舞台」「シーン」を表しうる汎用的な簡体字。短くて分かりやすい。  
   学習コスト: 1文字(6画)。部首は「土」。他の語でも土偏の字(地・坛など)を使う可能性があり、流用がしやすい。
3. kulis / 后台 /  
   選定理由: 演劇の「舞台裏」を指す中国語として「后台」は一般的。  
   学習コスト: 2文字。「后」(5画)と「台」(5画)はいずれも頻出漢字で、他の語根(講台・舞台など)とも重複して学習負担を削減。
4. loĝi / 包厢 /  
   選定理由: 劇場の「桟敷席」「ボックス席」に相当する中国語として「包厢」が最も一般的。  
   学習コスト: 2文字。「包」(5画)・「厢」(11画)。やや画数は多いが、他に定訳があまりないため妥当。
5. suflor / 提词员 /  
   選定理由: 「プロンプター(せりふを提示・小声で伝える人)」の現代中国語表現として「提词员」が分かりやすい。  
   学習コスト: 3文字だが、「提」(扌+是)「词」(讠+司)「员」(口へん+贝)はいずれも頻出要素。
6. mebl / 家具 /  
   選定理由: 「家具」は日中いずれでも直感的に理解しやすい定訳。  
   学習コスト: 2文字。「家」(10画)・「具」(8画)はいずれも非常に基本的。
7. servic / 餐具 /  
   選定理由: 「食器セット」「テーブルウェア」を指す中国語で一般的なのが「餐具」。  
   学習コスト: 2文字。「餐」(食へん)はやや画数多め(16画)だが、「具」は#7とも重複し学習効率が良い。
8. sof / 沙发 /  
   選定理由: ソファの中国語音訳が「沙发」。最もポピュラーな表記。  
   学習コスト: 2文字(沙7画+发5画=計12画)。いずれも頻出漢字。
9. fotel / 扶手椅 /  
   選定理由: 肘掛け椅子(アームチェア)を表す一般的な表現が「扶手椅」。  
   学習コスト: 3文字だが、いずれも常用。「椅」は後述(#12, #13)とも重複するため学習効率よい。
10. kanap / 长沙发 /  
    選定理由: 「長椅子」系ソファを中国語で表すなら「长沙发」が分かりやすい(文字通り「長いソファ」)。  
    学習コスト: 3文字。「长」(4画)は他(#14など)とも重複、「沙发」は#9から流用しやすい。
11. divan / 长椅 /  
    選定理由: 「divan」はベンチやソファに近い長椅子の一種。簡潔に「长椅」として割当。  
    学習コスト: 2文字。「长」は#11などと共通、「椅」は#10と同じで再学習の負担を軽減。
12. seĝ / 椅子 /  
    選定理由: 「chair(いす)」は中国語で「椅子」が最も自然。  
    学習コスト: 2文字。「椅」は#10・#12とも共通、さらに「子」も基本部首の1つ。
13. benk / 长凳 /  
    選定理由: ベンチとしては「长凳」が中国語で一般的。  
    学習コスト: 2文字。「长」は上記(#11, #12)と同じで重複利用。「凳」はやや画数多め(14)だが妥当。
14. stabl / 工作台 /  
    選定理由: 作業用の台(仕事台、ワークベンチ)を意味する中国語として「工作台」が分かりやすい。  
    学習コスト: 3文字だが、「工」や「作」、「台」はいずれも常用かつ他語(#4, #9など)とも重複。
15. piedestal / 底座 /  
    選定理由: 「台座」「台の下部」の意味で中国語では「底座」が一般的。  
    学習コスト: 2文字。「底」は#2とも共通、「座」(广部)もよく使われるため許容範囲。
16. sokl / 底座 /  
    選定理由: #16と同意義(台座・台の土台)なので同一表記を流用。  
    学習コスト: 既出の「底座」をそのまま適用することで追加の学習負担なし。
17. katedr / 讲台 /  
    選定理由: 「教授や聖職者が座する教壇・法座」の広義として「講台」を割り当て。実際には宗教色など差異があるが、教授の椅子・壇のイメージに比較的近い。  
    学習コスト: 2文字。「讲」(讠+井)と「台」はどちらも頻出。後述の#19, #22などでも「讲」が登場。
18. podi / 讲台 /  
    選定理由: 「podium」「壇」「壇上のステージ」を意味する語根なので、同様に「讲台」を流用。  
    学習コスト: #18と同じ表記を使うことで重複利用が可能。
19. tribun / 讲坛 /  
    選定理由: 「演壇」「演説用の壇」を意味する場合、「讲坛」が自然。「论坛」(フォーラム)に近いが、スピーチ壇としてはこちらが適切。  
    学習コスト: 2文字。「讲」は#18, #19と同一。「坛」(土+旦)も比較的シンプル。
20. estrad / 舞台 /  
    選定理由: 「壇・ステージ」を意味する語根。演劇上のステージは中国語で「舞台」が最も一般的。  
    学習コスト: 2文字(「舞」14画+「台」5画=19画)と少し多いが、舞台の意味として定着度が高い。すでに「台」は各所で再利用。
21. pupitr / 讲桌 /  
    選定理由: 「見台」「講演用の机」を表す語根。中国語では「讲桌」は講師台や演壇の上の机・譜面台のイメージにも近い。  
    学習コスト: 2文字。「讲」は上記(#18, #19, #20)と同じで再利用、「桌」(木部)も10画でそこまで難しくない。
22. aŭditori
    * 提案: 堂
    * 選定理由: 「堂」は日本語の「講堂」に通じる「ホール/会堂」をイメージしやすい。簡体字圏でも「食堂」「礼堂」などで用いられ、ホールを表す常用漢字。
    * 学習コスト: 画数はやや多め(11画)だが、日本語圏・中国語圏いずれでも頻出するため学習しやすい。
23. ĉarpent
    * 提案: 木工
    * 選定理由: 「大工仕事をする」の意で、中国語では「木工」が「大工仕事」を指す。日本人にも「木工」という熟語で直感的に伝わる。
    * 学習コスト: 「木」は既出利用可。「工」(3画)も頻度が高く学習コストが低い。二字熟語で意味がはっきりする。
24. arĥitektur
    * 提案: 建筑
    * 選定理由: 「建築術」を表す最も一般的な簡体字表現は「建筑」(繁体: 建築)。2文字で「建築」の概念を明確に示せる。
    * 学習コスト: 「建」(8画)と「筑」(10画)はいずれも常用漢字であり、中国語圏・日本語圏ともに意味を把握しやすい。
25. arkitektur
    * 提案: 建筑
    * 選定理由: 上記arĥitekturとほぼ同義で「建築術」。同じ「建筑」を当てることで区別は上付き文字などに委ねる。
    * 学習コスト: 同上(再利用)。
26. arkitekt
    * 提案: 建筑师
    * 選定理由: 「建築家」。中国語で「建筑师」が一般的。「师」=「〜専門家」「〜師」のニュアンス。
    * 学習コスト: 「师」(6画)は頻出字。今後も「〜師」に使えるため汎用性が高い。
27. arĥitekt
    * 提案: 建筑师
    * 選定理由: 上と同じく「建築家」を表すため、同一熟語を割り当て。
    * 学習コスト: 同上(再利用)。
28. ŝtip
    * 提案: 木片
    * 選定理由: 「丸太」「木切れ」などのニュアンス。「片」は「かけら/切片/一片」を表し、「木片」で「木片・薪片」的イメージが伝わりやすい。
    * 学習コスト: 「木」は既出。「片」(4画)も比較的簡単で汎用性がある。
29. arb
    * 提案: 木
    * 選定理由: 「木/樹」を表す最短・最簡単の文字。「树(9画)」も候補だが、より画数が少なく日中双方に馴染みがある「木」を採用。
    * 学習コスト: 4画で非常に基本的。今後も「木」関連で多用可能。
30. lign
    * 提案: 木材
    * 選定理由: 「木材」を示す最も直感的な2文字表現。単に「材」だけだと素材全般になりがちなので、「木材」で誤解を避ける。
    * 学習コスト: 「木」は既出。「材」(7画)も比較的使用頻度が高く、学習しやすい。
31. bambu

* 提案: 竹
* 選定理由: 「竹子」の簡潔形。「竹」は日中共通の常用漢字。
* 学習コスト: 6画でシンプル。木偏とも異なる独立部首だが、1字ですむので負担は小さい。

1. arbust

* 提案: 灌木
* 選定理由: 「灌木」は「低木/小さな潅木」の正式な中国語表現。
* 学習コスト: 「灌」(15画)はやや画数が多いが、「木」(既出)との組合せで意味がはっきりし、園芸・植生用語としては一般的。

1. lat

* 提案: 木条
* 選定理由: 「lath(薄い木摺り/木の細長い板)」→「木条(細い木の棒)」。板状より細長いニュアンスを出すため「条」を使用。
* 学習コスト: 「木」は既出。「条」(7画)は常用で、それほど難しくない。

1. ŝind

* 提案: 木瓦
* 選定理由: 「こけら板/木の屋根材」。厳密には中国語で標準的とは言い難いが、「木+瓦」で「木製の瓦＝木シングル」のイメージが伝わりやすい。
* 学習コスト: 「木」「瓦」はどちらも画数少なめ(4画ずつ)で既出・再利用が可能。

1. parget

* 提案: 拼木
* 選定理由: 「寄木張り」「寄木細工」「パーケット(木片を組み合わせた床)」→中国語で正式には「镶木地板」だが、「镶」は画数大＆新出字が多い。代わりに「拼木」で「木を組み合わせる」ニュアンスを簡潔に表す。
* 学習コスト: 「拼」(9画)はやや新出だが、常用。既出の「木」(4画)と組み合わせた2文字。

1. stuk

* 提案: 灰泥
* 選定理由: 漆喰やしっくい、石灰系の塗り物を総称するイメージ。中国語で「灰泥」は「灰漿」「灰泥漿」と並んで「灰+泥」の分かりやすい表現。
* 学習コスト: 「灰」(4画)、「泥」(6画)はいずれも常用字で比較的シンプル。

1. kahel

* 提案: 瓷砖
* 選定理由: 一般的に床・壁の「タイル」は中国語で「瓷砖」。単に「砖」(煉瓦)とは区別しやすい。
* 学習コスト: 「瓷」(8画)、「砖」(4画)はいずれも頻出の部首(「瓦」「石」「火」など)とは異なるが、日常にも出てくる単語。

1. tegol

* 提案: 瓦
* 選定理由: 「屋根がわら」。中国語で「瓦」は屋根用の瓦を指す。短く画数(4画)も少ないため採用。
* 学習コスト: すでに上記(ŝind など)で「瓦」を出しており再利用が可能。

1. revolver

* 提案: 左轮
* 選定理由: 中国語では「左轮手枪」が一般的だが、短縮形「左轮」だけでも「回転式拳銃」を指す場合が多い。
* 学習コスト: 「左」(5画)「轮」(8画)。2文字に抑えることで学習負担をやや軽減。

1. ruben

* 提案: 红宝石
* 選定理由: 中国語で「ruby」に最も対応する定訳が「红宝石」。「红玉」は別の意味合いになる場合あり。
* 学習コスト: 「红」(6画)「宝」(8画)「石」(5画)はいずれも常用字で、宝石関連で再利用可能な組み合わせ。

1. rubl

* 提案: 卢布
* 選定理由: ロシアの通貨「ルーブル」の中国語表記は「卢布」。
* 学習コスト: 「卢」(5画)「布」(5画)はいずれも日常的な単語の中に現れる常用字(例: 布料など)。

1. ludovik

* 提案: 卢多维克
* 選定理由: 男子名「ルドビク」の音訳例の一つ。中国語では「路德维克」「卢多维奇」なども見られるが、「卢」は既出なので多少画数を節約。
* 学習コスト: 新出字は「多」「维」「克」だが、いずれも日常語彙(多, 维护, 克服等)で出現頻度が高い。

1. liut

* 提案: 鲁特琴
* 選定理由: 「リュート(リュート属の弦楽器)」の一般的な中国語表記。英語 “lute” の音訳で「鲁特琴」が定着している。
* 学習コスト: 「鲁」(12画)は「魯」の簡体形。「特」(10画)、「琴」(12画)ともに楽器名などでよく見かける字。

luter / 路德 /

* + 理由: 中国語では「Martin Luther(マルティン・ルター)」を「马丁·路德」と表記するなど、名前の音訳として「路德」が定着している。
  + 学習コスト: 「路」「德」はどちらも比較的常用度が高く、日本人でも「路(道)」「德(徳)」の簡体字と推測しやすい。

1. lamp / 灯 /
   * 理由: 「ランプ」を表す最も基本的な簡体字。「灯」は日本語でも「灯(燈)」として馴染みがある。
   * 学習コスト: 画数が少なく、今後「灯笼」「吊灯」などでも再利用可能。
2. lantern / 灯笼 /
   * 理由: 中国語で「ランタン」は「灯笼」が一般的（紙製の提灯等も含む）。
   * 学習コスト: 「灯」は既出。新出の「笼」は「かご」の意味もある(後述の鳥かごにも転用)。画数はやや多いが、再利用価値が高い。
3. lucern / 吊灯 /
   * 理由: 天井などから吊るすランプ（吊り下げランプ、教会の吊りランプ等）を中国語で総称する場合、「吊灯」が最もわかりやすい。
   * 学習コスト: 「灯」は既出。「吊」(5画)は比較的簡単で日常単語にも登場。
4. kandel / 烛 /
   * 理由: 本来「蜡烛(ロウソク)」が最も一般的だが、学習コストを抑えるため2文字目の「蜡」を省き、単に「烛」として割り当て。中国語でも「烛光(ろうそくの光)」などの形で単独使用例あり。
   * 学習コスト: 新出だが画数(8画)はそれほど多くなく、「kandelabr(燭台)」にも転用がしやすい。
5. kandelabr / 烛台 /
   * 理由: 枝付き燭台は「烛台」と呼ぶのが自然（より厳密には「枝形烛台」とも言うが、文字数を増やさないため省略）。
   * 学習コスト: 「烛」は既出。「台」(5画)は頻出漢字で、日本人にとっても「台(ダイ)」として認識しやすい。
6. brul / 烧 /
   * 理由: 「燃える/燃やす」などを指す最もシンプルな動詞が「烧(焼)」。現代中国語で「燃烧」「烧着」などにも使われる。
   * 学習コスト: 画数(10画)は中程度だが、「燃」より画数が少なく、料理など日常語でも登場するため汎用性が高い。
7. fajr / 火 /
   * 理由: 「火」は「火そのもの」を表す最も基本かつ画数の少ない文字。日本語でも同形同音(ひ)。
   * 学習コスト: 画数わずか4画で習得しやすい。以降「火柴(マッチ)」「火药(火薬)」で再利用。
8. flam / 炎 /
   * 理由: 漢語で「炎」は「ほのお」「炎症」「燃え上がる状態」などを示し、単独でも「フレイム(flame)」的なイメージを持つ。
   * 学習コスト: 画数(8画)はそこそこだが、「火焰(＝炎)」よりは1文字が簡潔。日本語話者も「炎(ほのお)」で認識しやすい。
9. alumet / 火柴 /

* 理由: 中国語でマッチは「火柴」が定着表現。「柴」は「柴(しば)＝小枝・たきぎ」の意。
* 学習コスト: 「火」は既出。「柴」(10画)は新出だが常用語としての頻度も高め。

1. pulv / 火药 /

* 理由: 火薬は中国語で「火药」が標準。「薬」の簡体字が「药」。
* 学習コスト: 「火」は既出。「药」(9画)は新出だが非常に頻出(「中薬」「西药」など)かつ覚えやすい。

1. spalir / 棚架 /

* 理由: 果樹を柵状・垣根状に支えたり並べたりする「エスパリエ(espalier)」は、しばしば「棚架」「棚式支架」などと表現可能。
* 学習コスト: 「棚」(8画)は後述「棚屋」「棚子」にも転用。「架」(9画)は“かける・うく”などの意味で応用範囲あり。

1. ĉevron / 椽 /

* 理由: 建築の「垂木(たるき)」に相当する中国語は「椽」(chuán)が最も直接的。
* 学習コスト: やや専門用語的かつ12画で新出。ただし正確な建築用語としてはこれが一般的。

1. trab / 梁 /

* 理由: 「梁」は「梁(はり)」「横梁(よこばり)」などを示す基本字。英語の“beam/girder”相当。
* 学習コスト: 11画だが頻度は高く、日本語でも「梁」として通じる。

1. fost / 柱 /

* 理由: 「柱」(ちゅう)は「柱・ポール・支柱」を表す漢字で、建築的にも分かりやすい。
* 学習コスト: 9画で、日中ともに使用頻度が高い。

1. kolon / 圆柱 /

* 理由: 円柱(円柱形)は「圆柱」。単に「柱」でも通じるが、円筒状を強調するなら「圆」を付加。
* 学習コスト: 「柱」は既出。「圆」(9～10画)は新出だが「丸」「円」と形・意味が近く、日本人にも類推しやすい。

1. barak / 棚屋 /

* 理由: バラック(簡易小屋/小屋掛け)として、ここでは「棚＋屋」の組合せを採用。「棚屋」は簡易的な小屋・バラックのニュアンスが伝わる。
* 学習コスト: 「棚」は既出。「屋」(9画)は新出だが「家屋」「屋上」など汎用性大。

1. nest / 巢 /

* 理由: 鳥の巣は中国語で「巢」が正式。日本語「巣」と簡体字「巢」はやや形が違うが、連想可能。
* 学習コスト: 11画とやや多めながら、生物関連でよく見かける重要語。

1. kaĝ / 笼 /

* 理由: 鳥かご・檻は「笼」または「笼子」が一般的。ここでは1文字「笼」を割当。
* 学習コスト: 11画。既に「灯笼(ランタン)」で登場済みなので再利用しやすい。

1. bud / 棚子 /

* 理由: 仮小屋・屋台・露店など多義に使われる「bud」は、簡易的な「棚子」としてまとめやすい。
* 学習コスト: 「棚」は既出。「子」(3画)は極めて基本的な字で、多用途。

1. kaban / 小屋 /

* 理由: 「小屋」の字面が日本語とも一致し、意味を直感しやすい。
* 学習コスト: 「小」(3画)は最小クラスの画数。「屋」は「棚屋」で既出。

1. tend / 帐篷 /

* 理由: テントは現代中国語で「帐篷」が標準的。
* 学習コスト: 「帐」(7画)「篷」(13画)はいずれも新出だが、テントを表すには不可欠な組合せ。

laŭb

* + 提案: 亭
  + 理由: 「凉亭」などで使われる「亭」は、「小さな休憩用の建物」「亭(てい)」という意味を日中双方で比較的容易に連想可能。
  + 学習コスト: 画数はやや多め(9画)だが、日常的にも「亭」は頻出。他の語根(例えば「kiosko=売店」など)にも将来的に「亭」を転用できる可能性がある。

1. mason
   * 提案: 砌
   * 理由: 「砌(石やレンガを積む/築く)」という動詞・名詞用法があり、石造・レンガ造りのニュアンスが出る。
   * 学習コスト: やや珍しく感じるかもしれないが、単独で“石やレンガを組む”ニュアンスがある漢字は限られる。再利用は限定的かもしれないが、意味の的確さを重視。
2. morter
   * 提案: 砂浆
   * 理由: 中国語で「モルタル」に当たる語として最も一般的。「灰浆」「砂浆」ともに使われるが、「砂浆」は建築用途として分かりやすい。
   * 学習コスト: 二文字熟語だが、いずれも基本部首(石偏や水偏等)ではなく「砂」「浆」それぞれ比較的よく見る字。建築分野の他の語彙にも「浆」を転用できる可能性はある。
3. rotond
   * 提案: 圆厅
   * 理由: 「円形の建物・ホール」を表すなら「圆厅」が分かりやすい。ロタンダは円形の大広間や建造物を指す。
   * 学習コスト: 「圆(円)」「厅(廳の簡体)」ともに比較的よく用いられる簡体字。「圆」は今後「円筒」など他の丸形表現へも流用可能。
4. pilastr
   * 提案: 壁柱
   * 理由: ピラスター(壁から突き出た装飾的な半柱)を指す標準的な中国語訳は「壁柱」。単なる「柱」だと汎用的すぎる。
   * 学習コスト: 二文字ではあるが、「壁」「柱」ともによく使う字。のちに「城壁」(rempar)や「柱廊」(peristil)などでも登場する可能性があり、部品の再利用が期待できる。
5. peristil
   * 提案: 柱廊
   * 理由: 「柱廊」「列柱廊」などが一般的訳。ギリシャ・ローマ建築由来の回廊を指す語として定着している。
   * 学習コスト: 「柱」は既出(上記「壁柱」)と同一、「廊」は「走廊」などにも使える漢字なので、再利用性がある。
6. bastion
   * 提案: 棱堡
   * 理由: バスティオン(稜堡)の正確な訳語としては「棱堡」が定着している。「堡」だけだと単なる「砦/砦の一種」となるため、意味を絞るなら「棱堡」。
   * 学習コスト: 二文字とも比較的画数が多めだが、軍事建築特有の言葉ゆえ、正確さを優先。後述の「堡」(城・要塞関連)や「垒」などとの使い分けに注意が必要。
7. citadel
   * 提案: 要塞
   * 理由: 「要塞」は都市や戦略地点を固守する大規模な砦・城塞を指し、「citadel」のニュアンスに近い。中国語では「堡垒」「要塞」などがほぼ同義だが、バスティオン(bastion)との混同を避けるためにも「要塞」と使い分ける。
   * 学習コスト: 二文字で画数もそこそこ多いが、非常に一般的な表現。同じく「塞」は「边塞」(辺境の砦)など軍事系語彙で再利用可能。
8. tur
   * 提案: 塔
   * 理由: 「塔」は塔・鐘楼・搭の意。「塔」は日本語でも「塔」として馴染みがある。
   * 学習コスト: 画数は8画で比較的扱いやすい。後述の「塔樓」「宝塔」などの複合にも再利用しやすい。
9. kastel

* 提案: 城
* 理由: 一般的に「城」「城堡」「城郭」などの訳語が考えられるが、日本語「城」とほぼ直結でき、中国語でも「城」単独で“城や城郭”を想起させるため分かりやすい。
* 学習コスト: 単一漢字(9画)で、軍事建築全般を広くカバーできる。非常によく使われる字。

1. rempar

* 提案: 城墙
* 理由: 「城壁」という意味合いでは中国語では「城墙」が最もポピュラー。
* 学習コスト: 「城」は既出( kastel )、「墙」は「壁(廟→庙 / 壁→壁 )」に近い機能語。やや画数多めだが、中国語で「壁」より「墙」のほうが“外壁”のニュアンスが強い。

1. palac

* 提案: 宫殿
* 理由: 「宮殿」の定訳が「宫殿」で、王宮・宮廷建築全般を指せる。
* 学習コスト: 二文字だが、高頻度かつ分かりやすい組み合わせ。今後「宫」は「后宫」などでも出てくる可能性大。

1. serajl

* 提案: 后宫
* 理由: トルコの皇帝(スルタン)の宮殿であり、特にハーレムを含む“奥の宮廷”を指す「seraglio」。中国語では類似概念として「后宫」(皇帝の女性居所)が比較的近い。
* 学習コスト: 二文字で意味の連想もしやすい。「宫」は既出( palac )なので再利用に繋がる。

1. kupol

* 提案: 圆顶
* 理由: 「円天井」(ドーム天井)は中国語で「圆顶」が一般的。
* 学習コスト: 「圆」も「顶」も既に他の建築関連(「圆厅」「屋顶」など)で活かせるため、重複活用による学習負担軽減が見込める。

1. tegment

* 提案: 屋顶
* 理由: 建物の「屋根」を中国語で最も端的に表すのは「屋顶」。
* 学習コスト: 「屋」は比較的初級、「顶」も他と重複しうる(「圆顶」「车顶」など)ので、学習コストはあまり高くない。

1. baldaken

* 提案: 华盖
* 理由: 「天蓋・キャノピー」の古典的かつ代表的な表現に「华盖」がある。帝王の車輿の上などに飾られる“華やかな天蓋”を連想しやすい。
* 学習コスト: やや古風だが二文字。どちらも日中でそこそこ目にする偏旁構成。厳密に“バルダキン”(祭壇や玉座の覆い)を指すなら、この語が最も近い。

1. kel

* 提案: 地窖
* 理由: 「地窖」はワインや農産物を貯蔵する地下の空間を指す際によく使われ、英語 cellar / basement に近い。
* 学習コスト: 二文字だが、「地」は初歩漢字。「窖」はやや珍しいが“地下貯蔵施設”といった意味に特化しており、イメージがつかみやすい。

1. mansard

* 提案: 阁楼
* 理由: 「屋根裏部屋」「(欧風の)マンサード型屋根の下の居室」を中国語では「阁楼」が最も近い。“ロフト/アティック”の意味合いで広く使われる。
* 学習コスト: 二文字。「阁」は“小さな高殿”や“二階建ての上部”のニュアンスがあり、建物関連でほかにも転用可能。

1. teras

* 提案: 露台
* 理由: 建物に付随する“外に突き出た平らなスペース(テラス)”としては「露台」が一般的。
* 学習コスト: 二文字。「露」は画数多めだが、日常で「露营(キャンプ)」「露天(屋外)」などにも用いるため汎用性あり。「台」は既出(台阶など)で再利用も期待。

1. verand

* 提案: 阳台
* 理由: 「ベランダ」相当を中国語で日常的に言うと「阳台」。厳密には“屋根のあるポーチ”など微妙に違う場合もあるが、一般的にはこれが最も近い。
* 学習コスト: 二文字ながら、日本語の「陽台(ようだい)」とも発音・意味が推測しやすい。「阳」は日常語(“太陽”関連)、「台」は既出で学習コストを抑えられる。

1. peron

* 提案: 台阶
* 理由: 玄関前などの“外階段”を指す語として、「台阶(段差/ステップ)」が簡潔かつ適切。
* 学習コスト: 「台」「阶」どちらも常用で、すでに上記の単語(露台など)でも使われる可能性が高い。反復学習がしやすい。

1. imperial

* 提案: 车顶座
* 理由: 昔の馬車や2階建てバスなどの“屋上席”を想起するために、中国語では「车顶座」(車両の頂上の座席)が分かりやすい。
* 学習コスト: 三文字とやや長いが、それぞれ日常的に見る字。「车」や「顶」は既出でもあり再利用しやすい。

fenestr / 窗 /  
選定理由: 簡体字「窗」は「窓」の意味を直接表す代表的な字。日本語の「窓」とほぼ対応し、中国語でも「窗户」として使われるため、日本語話者・中国語話者双方が連想しやすい。  
学習コスト: 部首「穴」や構成要素の把握が必要だが、他の「窓」を表す語根(luk など)で重用できる見込みが高い。

1. luk / 天窗 /  
   選定理由: 「天窗」は「天井にある窓」「スカイライト・天窓」という意味で中国語でも定着した表現。  
   学習コスト: すでに「窗」を使っているので、追加される新漢字は「天」(画数4)のみ。比較的簡易。
2. pord / 门 /  
   選定理由: 「門」の簡体字「门」は画数も少なく、中国語で「扇（とびら）」「入り口」を表す最も基本的な文字。  
   学習コスト: 画数が3画で非常に少なく、多用される部首でもあるため汎用性が高い。
3. kluz / 水闸 /  
   選定理由: 水をせき止めたり流量を制御したりする「水門・水閘」に相当。中国語では「水闸(しゅい ざ)」が標準的。  
   学習コスト: 新出の「水」「闸」が増えるが、「水」は頻度が高く学習優先度も高い。「闸」単体で「閘・スイッチ・水門」の意を持つが、2文字のほうが意味が明確。
4. vestibl / 门厅 /  
   選定理由: 中国語の「门厅」は「入り口付近のホール」「玄関ホール」の定番表現。  
   学習コスト: 「门」は既出で、追加漢字「厅」(4画)も比較的シンプルで高頻度。
5. portal / 大门 /  
   選定理由: 「portal」は「正面入口」「正門」に近いため、中国語の「大门(だいもん)」を割り当て。簡潔でわかりやすい。  
   学習コスト: 「大」は3画、「门」は既出。ともに簡単かつ高頻度。
6. balkon / 阳台 /  
   選定理由: 中国語で「バルコニー」「ベランダ」に相当する標準的な言い方が「阳台」。  
   学習コスト: 「阳」(6画)と「台」(5画)。どちらも比較的頻度が高く、学習価値は高め。
7. portik / 门廊 /  
   選定理由: 「ポーチ」「柱廊」などの意に近く、中国語では「门廊」が妥当。「门」は既出、「廊」は後述の「走廊」と同じ字で再利用。  
   学習コスト: 新出は「廊」(8画)のみ。今後「廊」を用いる語にも展開可能。
8. koridor / 走廊 /  
   選定理由: 「廊下」「通路」を指す中国語として最も一般的なのが「走廊」。  
   学習コスト: 「走」(7画) と「廊」(8画)。すでに「廊」は上記で登場予定のため重複使用。
9. galeri / 回廊 /  
   選定理由: 「回廊」「ギャラリー(建築的な意味での回廊)」という意味合い。中国語の「回廊」はやや古風だが、文字通り「回り込む廊下」を指す。  
   学習コスト: 「回」(6画)と「廊」(既出)。比較的シンプルかつ日本語話者にもイメージしやすい。
10. balustrad / 栏杆 /  
    選定理由: 「欄干・手すり」に相当する中国語の一般的な言い方。「扶手」は“手すり”寄り、「护栏」は“防護柵”寄り。汎用的には「栏杆」が通用。  
    学習コスト: 「栏」(7〜8画)「杆」(7画) ともにやや初級を超えるが、いずれも日常でよく目にする。
11. ŝrank / 柜 /  
    選定理由: 「柜」は「キャビネット・戸棚・クローゼット」など広く“収納家具”全般を指し得る。  
    学習コスト: 1文字(8画)で済むのでシンプル。
12. bret / 架子 /  
    選定理由: 「棚」「ラック」を表す語として「架子」が口語的かつ分かりやすい。「架」単体でも「架・棚」の意味はあるが、「～子」で名詞化がより明瞭。  
    学習コスト: 「架」(6画) + 「子」(3画)。「子」は他の単語でも高頻度。
13. niĉ / 壁龛 /  
    選定理由: 建築的な「壁 niches(壁のくぼみ)」を指す標準的な表現は「壁龛(びかん)」。中国語でも「壁龛」と書く。  
    学習コスト: 「壁」(16画) 「龛」(8〜10画程度) と画数は多いが、ニッチ構造を指す定訳としてはこれが妥当。
14. angul / 角 /  
    選定理由: 「角」「コーナー」を意味するシンプルな字。日本語でも「角」は“かど”“つの”両方を表す場合があり、中国語も同じ字形。  
    学習コスト: 7画だが、動物の角にも再利用できる。
15. korn / 角 /  
    選定理由: 「(動物の)角」も中国語で「角」。上記angulと同じ字だが、エスペラント上は区別(上付き文字等)を予定。  
    学習コスト: 既出の「角」を使い回すことで、学習コストを下げられる。
16. arkad / 拱廊 /  
    選定理由: 建築の「アーケード」(拱状空間＋廊下)は中国語で「拱廊」と表されることがある。「拱门」は“アーチ状の門”止まりなので、通路含む場合は「拱廊」が自然。  
    学習コスト: 新出の「拱」(8〜9画)と既出の「廊」を組み合わせ。
17. pont / 桥 /  
    選定理由: 中国語で「橋」の標準簡体字。最も基本的な表現。  
    学習コスト: 10画だが、「桥」は多用語彙で学習価値も高い。
18. viadukt / 高架桥 /  
    選定理由: 「陸橋・高架橋」に相当する中国語は「高架桥」が一般的。「天桥」は歩道橋の意味になるので、より鉄道や車道などの“高架”感が強いこちらを採用。  
    学習コスト: 「高」(10画) は新出、「架」(既出) 「桥」(既出) なので、一文字増だけで済む。
19. mur / 墙 /  
    選定理由: 「壁・塀・かべ」を表す中国語の標準簡体字は「墙」。日本語の「壁」は漢字こそ同じだが、中国で一般的なのは「墙」。  
    学習コスト: 11画とやや多めだが、動詞「墙(塗り込む)」の派生語を含め、使用頻度は高め。
20. plafon / 天花板 /  
    選定理由: 「天井」を表す代表的な中国語は「天花板」。単に「顶板」等という言い方もあるが、標準的・口語的には「天花板」が広く通じる。  
    学習コスト: 「天」(既出)「花」(7画)「板」(8画) はいずれも中国語の常用字で、学習優先度は決して低くない。
21. heĝ / 树篱 /  
    選定理由: 「生け垣」「生垣」を指す中国語では「树篱(樹木の垣)」が標準的。類義語としては「篱笆」(柵,垣)もあるが、垣根としては「树篱」がより直接的。  
    学習コスト: 「树」(9画) 「篱」(15〜17画) はやや多いが、ほかに適切な簡易単字が見当たらないため採用。

kornic

* + 提案漢字: 檐口
  + 選定理由: 「cornice（軒蛇腹）」は建築用語としては「檐口」または「檐」自体がよく使われますが、単字「檐」だけでは「軒先」や「屋根の端」を広く指すため、ここでは建築における水平の出っ張りを示す「檐口」を採用しました。
  + 学習コスト:
    - 「檐」はやや画数が多めですが、「口」は画数が少なく汎用性が高いです。実際の使用頻度としても「檐口」は建築関連で見かけるため、完全にマイナーすぎる漢字ではありません。

1. buĝet
   * 提案漢字: 预算
   * 選定理由: 「予算」に相当する最も標準的な中国語が「预算」です。
   * 学習コスト:
     + 「预」「算」はいずれも比較的使用頻度が高い常用漢字です。他の用語（予定、计算など）にも頻出するため転用・応用しやすいと言えます。
2. budĝet
   * 提案漢字: 预算
   * 選定理由: 上記「buĝet」と同義語のため、同じ「预算」を割り当てます。
   * 学習コスト:
     + すでに「buĝet」で導入済みの2文字をそのまま使うため追加負担なし。
3. ĉek
   * 提案漢字: 支票
   * 選定理由: 「小切手」は中国語で「支票」が一般的。
   * 学習コスト:
     + 「支」「票」はどちらも常用度が高く、他の文脈でもよく出現するため、学習コストとしては妥当。
4. bank
   * 提案漢字: 银行
   * 選定理由: 「銀行」はそのまま「银行」が標準訳です。
   * 学習コスト:
     + 「银」は金属関連でよく見かける常用字、「行」も頻度が高い字です。
5. bankier
   * 提案漢字: 银行家
   * 選定理由: 「銀行家」は「银行家」が自然な表現です。
   * 学習コスト:
     + 「银行」は既出。「家」も非常に基本的な字なので学習負担は少ない。
6. kas
   * 提案漢字: 钱柜
   * 選定理由: 「金庫」や「キャッシュボックス」に相当する表現として「钱柜」がわかりやすい。
     + 「财务处」でも良い場合がありますが、より「箱・保管場所」のニュアンスが強い「钱柜」を優先しました。
   * 学習コスト:
     + 「钱」も「柜」も常用度は高め(「柜台」「钱币」など)。1文字での対応は難しいので2文字熟語を採用。
7. fisk
   * 提案漢字: 国库
   * 選定理由: 「国庫」に相当し、中国語では「国库」が標準的。
   * 学習コスト:
     + 「国」「库」は非常に基本度・頻度の高い漢字。すでに他の財務関連でも再利用の可能性が高い。
8. por##
   * 提案: 未対応
   * 理由: 「#」付きのため本来は語根ではなく、今回の割当対象外と判断。
9. put

* 提案漢字: 井
* 選定理由: 「井戸」に相当し、簡体字でも「井」。単字で意味が十分通じます。
* 学習コスト:
  + 画数が少なく、構造も簡単で覚えやすい文字。

1. pip

* 提案漢字: 烟斗
* 選定理由: エスペラント語根「pip-」は主に“（喫煙用の）パイプ”の意味合いが強いため、中国語では「烟斗」が最適。
* 学習コスト:
  + 「烟」は「煙(繁体)」の簡体字、「斗」は画数も少なく日常的に見られる字。

1. tub

* 提案漢字: 管
* 選定理由: 「管」は「筒状のパイプ・チューブ全般」を意味できる最も一般的な単字。
* 学習コスト:
  + 一文字で済むので短くわかりやすい。「管辖」「管理」などでも頻出する字。

1. fontan

* 提案漢字: 喷泉
* 選定理由: 「噴水」は中国語で「喷泉」がもっとも標準的。
* 学習コスト:
  + 「喷」は「口」偏＋「宾」に相当する形で比較的よく登場。「泉」も水源関係で頻出。

1. akvari

* 提案漢字: 鱼缸
* 選定理由: 「aquarium（観賞用の水槽）」を指す場合、日常表現では「鱼缸」が最もポピュラー。「水槽」でも良い場合がありますが、観賞魚などを飼う水槽のニュアンスが強いので「鱼缸」が自然。
* 学習コスト:
  + 「鱼」（魚の簡体）も「缸」(陶器の大きなつぼ)も、そこまで画数は多くない。生活用品としての認知度も高い。

1. basen

* 提案漢字: 盆
* 選定理由: 「水盤」を単に「盆」で表現可能。「水盆」でも構いませんが、一文字で充分意味が通ります。
* 学習コスト:
  + 「盆」は画数9画で比較的シンプル。園芸や家庭用品などでも出てくる頻度の高い漢字。

1. cistern

* 提案漢字: 水池
* 選定理由: 「貯水池」「貯水槽」を一番シンプルに言い表すなら「水池」。厳密には「蓄水池」や「储水池」などもありますが、画数が増えるため最小限に抑える目的で「水池」を採用。
* 学習コスト:
  + 「水」「池」はともに基本的・常用的な漢字。構造も簡単。

1. kloak

* 提案漢字: 下水道
* 選定理由: 「下水管」や「下水溝」などにも近いですが、中国語では総称的に「下水道」を使うのが自然。
* 学習コスト:
  + 「下」「水」は画数が少なく、「道」も各所で頻出するため再利用しやすい。

1. kanal

* 提案漢字: 运河
* 選定理由: 「運河」の標準訳が「运河」。
* 学習コスト:
  + 「运」(“運”の簡体字)、「河」はいずれも頻出度が高く、比較的取り組みやすい。

1. tunel

* 提案漢字: 隧道
* 選定理由: 「トンネル」は正式には「隧道」。口語や場合によっては「地道」も「トンネル」を意味するが、他の意味（“正真正銘の”“本場の”など）とも紛らわしいので、ここでは正式な「隧道」を推奨。
* 学習コスト:
  + 「隧」はやや画数が多めだが、建設や交通などの文脈で見る機会はある。すでに「道」は他で出現済み。

1. kort

* 提案漢字: 庭院
* 選定理由: 「中庭」「中ほどの庭空間」に当たる語で、中国語では「庭院」がポピュラー。
* 学習コスト:
  + 「庭」「院」はどちらも比較的よく使われる字（家庭、法院、医院など）なので応用範囲は広い。

1. ĝarden

* 提案漢字: 花园
* 選定理由: 「庭園」や「花壇付きの庭」のイメージも込め、中国語の日常用語としては「花园」が「庭(園)」に相当。単に「园」でも「園」の意味は通りますが、より「garden（花などを植える場所）」のニュアンスが明確です。
* 学習コスト:
  + 「花」「园」はともに日常語。画数もそれほど多くない。

1. plac

* 提案漢字: 广场
* 選定理由: 「広場」は「广场」が最も一般的な中国語表現。
* 学習コスト:
  + 「广」(“広”の簡体)と「场」(“場”の簡体)はいずれも非常に基本的かつ頻度が高い。

stadion

* + 提案: 场
  + 選定理由: 中国語で「运动场（体育场）」など「～场」が競技場・スタジアム的な空間を指すため。「场」1文字で「広場」「会場」「競技場」等のニュアンスを広くカバーしやすい。
  + 学習コスト: 画数は6画と比較的少なく、汎用性（各種「～场」の形で転用可）も高い。

1. park
   * 提案: 公园
   * 選定理由: 中国語の標準的な「公园」（公=公共、园=庭園）をそのまま採用。日本語話者も「公園」に近い文字として認識しやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが「公」は4画、「园」は6画でいずれも比較的シンプル。後述の「公寓」と合わせ「公」の再利用が見込める。
2. garaĝ
   * 提案: 车库
   * 選定理由: 中国語でガレージに相当する最も一般的な表現。「车」（車）+「库」（倉庫）で「車をしまう倉庫」の意。
   * 学習コスト: 2文字だが「车」は4画と少なく、後述の「车站」などでも再利用可能。「库」は7画。
3. staci
   * 提案: 车站
   * 選定理由: 中国語で「駅」に相当する代表的表現。「车」（車）と「站」（停留所・駅）の組合せ。
   * 学習コスト: 「车」はすでに登場済み。「站」は7画でそこまで多くはなく、駅・プラットホーム関連語にも転用しやすい。
4. etap
   * 提案: 段
   * 選定理由: 「阶段」（段階）や「路段」（行程）などに含まれる「段」から転用。エスペラント語の「段階・行程」のニュアンスに近い。
   * 学習コスト: 9画だが常用漢字で日本語にも「段階」「段落」などがあるため連想しやすい。
5. buduar
   * 提案: 闺房
   * 選定理由: 中国語で女性の私室（閨房）を指す表現。「闺」は“とびら”の門構え＋「圭」で「女性の奥まった部屋」の意、「房」は「部屋」。
   * 学習コスト: 「房」は後述の「牢房」でも再利用。「闺」はやや珍しいが、門構えは「间」「闺」など他の語でも応用可。
6. ĉambr
   * 提案: 间
   * 選定理由: 中国語で「房间」（部屋）を指す要素で、単に「～间」と言うだけでも「～の部屋」を表す使い方が可能。
   * 学習コスト: 7画で、門構えの再利用が効く。日本語話者には「間」の簡体字としてイメージしやすい。
7. kamer
   * 提案: 相机
   * 選定理由: 中国語で「カメラ」は「照相机」だが、簡略して「相机」と呼ぶ場合も多い。1文字では難しいため2文字熟語。
   * 学習コスト: 「相」（9画）と「机」（6画）はどちらも比較的頻出し、今後「机器」(機械)などへの拡張も可能。
8. salon
   * 提案: 沙龙
   * 選定理由: 中国語で「サロン」を音訳した一般的表現。美容院などの「サロン」や文化的な集まりも「沙龙」。
   * 学習コスト: 2文字ながら合計画数は少なめ（「沙」7画+「龙」5画=12画）。「龙」は中国簡体字の代表的な1字でもある。
9. hal
   * 提案: 厅
   * 選定理由: 中国語の「大厅」「客厅」など「大きなホール・ホール状の部屋」に通じる単語。「厅」単独でも「ホール」の意。
   * 学習コスト: 4画とかなり少ないため導入しやすい。
10. apartament
    * 提案: 公寓
    * 選定理由: 中国語で「アパートメント」に最も近い表現。「公」（公共）+「寓」（住まい）の組合せ。
    * 学習コスト: 「公」はすでに「公园」で再利用。「寓」は12画とやや多いが、中国語圏ではアパート含む下宿施設を指す常用単語。
11. kaj## (おそらく「kajo」由来: プラットホーム)
    * 提案: 站台
    * 選定理由: 中国語で「駅のプラットホーム」を「站台」と呼ぶのが一般的。「站」（駅）+「台」（台地・舞台）。
    * 学習コスト: 「站」は既出。「台」は5画と少なめ、他の言葉（舞台・平台）でも応用可能。
12. bordel
    * 提案: 妓院
    * 選定理由: 中国語における「売春宿」の代表的表現。古い言い方としては「青楼」などもあるが、現代では「妓院」が分かりやすい。
    * 学習コスト: 2文字。「院」は後に「医院」などでも再利用可能で汎用性が高い。
13. pension
    * 提案: 民宿
    * 選定理由: 厳密には「ペンション＝寄宿形式の小規模宿泊施設」だが、中国語で近いイメージとしては「民宿」が比較的一般的。
    * 学習コスト: 「民」（5画）+「宿」（11画）計16画だが、「宿」は日本語でも「宿泊」などで馴染みがある。
14. azil
    * 提案: 避难所
    * 選定理由: 中国語で「避難所」「難民用シェルター」などに相当する。asylum, sanctuaryのニュアンスを最も無難に伝えられる表現。
    * 学習コスト: 3文字かつやや画数が多いが、意味を正確に表すには適切。「所」は他でも活用しやすい。
15. karcer
    * 提案: 牢房
    * 選定理由: 中国語で「監房」「牢獄」に近い意味。特に「牢房」は「牢（牢獄）」+「房（部屋）」で「監房（檻の部屋）」を的確に表す。
    * 学習コスト: 「房」は既出（闺房）と同じ文字を再利用。「牢」は8画で比較的頻度も高い。
16. hamak
    * 提案: 吊床
    * 選定理由: 中国語でハンモックを指す標準的な表現。文字通り「吊るすベッド」の意。
    * 学習コスト: 「吊」は6画、「床」は7画。どちらも基本的な偏旁（「口」「广」など）を含むため覚えやすい範疇。
17. harem
    * 提案: 后宫
    * 選定理由: 本来は「皇帝の後宮」を指すが、中国語で「ハーレム」に相当する語として広く通じる。
    * 学習コスト: 「后」は6画、「宫」は10画。どちらも比較的常用される。
18. kanvas
    * 提案: 帆布
    * 選定理由: 中国語でキャンバス生地を指す場合の表現。もともと船の帆に用いた厚手の布の意味合いが近い。
    * 学習コスト: 「帆」（6画）+「布」（5画）計11画で済み、いずれも割と基本的。
19. velen
    * 提案: 未対応
    * 選定理由: 「子牛皮紙」に正確に相当する簡体字が一般的に存在せず、「牛皮纸」は実際はクラフト紙、「羊皮纸」は羊皮の紙を指す。混同を避けるため割当を見送る。
    * 学習コスト: 未対応とすることで不要な珍字の導入を回避。
20. pergamen
    * 提案: 羊皮纸
    * 選定理由: 中国語で「羊皮紙（パーチメント）」を指す標準的な表現。英語のparchmentにも対応。
    * 学習コスト: 3文字だが「羊」（6画）「皮」（5画）「纸」（7画）といずれも比較的基本的な構成。
21. vat
    * 提案: 棉
    * 選定理由: 中国語で「綿」を指す簡体字。厳密には「棉花」が「綿花」だが「棉」単独でも綿全般を表せる。
    * 学習コスト: 12画だが単独で「綿（ワタ）」を示すのに通用し、日本語「綿」の簡体字として連想もしやすい。
22. koton / 棉 / 「綿」の簡体字であり、“コットン”を直接連想しやすい / 初出だが比較的頻度が高く日中両方で認知度が高い
23. tuk / 布 / “布”全般を指す常用字で直感的 / 画数も少なく、学習コストが低い
24. katun / 棉布 / “綿布”をストレートに表す熟語、既出の「棉」と「布」で構成 / 追加の新字なしで学習コストを抑えられる
25. tol / 麻 / 「麻」は本来“麻(ヘンプ)”だが、リネン・亜麻布のイメージにも近い / 1文字で済み比較的認知度も高い
26. fibr / 纤维 / 「纤维」は「繊維」の標準的な簡体表現 / 2文字だがごく一般的用語で学習価値が高い
27. drap / 呢 / 「呢」は「呢绒」(ウール生地)の略称として使われやすい / 1文字でウール系布をイメージしやすく、画数も比較的少ない
28. silk / 丝 / 絹を意味する簡体字「丝」(日本語の「糸」+αのイメージ) / 画数も少なく日中ともに連想しやすい
29. lan / 毛 / 羊毛などの“毛”全般を表す常用字 / 画数も4画と少なく汎用性が高い
30. velur / 丝绒 / “ビロード”=「シルク製の柔らかい起毛布」。既出の「丝」に新出の「绒」を組み合わせ / 「绒」は天鵝絨(ビロード)などで使われ、応用範囲も広い
31. tul / 纱 / ガーゼ・薄布などを指す「纱」が“チュール”に近い感覚 / 6画で比較的わかりやすい
32. ĉarpi / 纱布 / “リント布”=医療用ガーゼ。「纱」と「布」の組み合わせ / 両方既出文字で学習コストを抑えられる
33. pluŝ / 毛绒 / “プラシ天(プラッシュ)”を連想。「長い毛足のある織物」=「毛绒」 / 「毛」は既出、「绒」はvelurと同じで再利用
34. felt / 毡 / “フェルト”を直接指す簡体字 / 1文字で済み、実用頻度も低くはない
35. taft / 塔夫绸 / “タフタ”の慣用的な簡体表現 / 新出字がやや多いが専門用語として定着している
36. biskvit / 饼干 / “ビスケット”の基本的な中国語 / 日常語で頻度が高く連想もしやすい
37. batist / 细麻布 / “バチスト”=薄手麻布。「麻」「布」は既出に「细」を組み合わせ / 新出は「细」のみで抑えられる
38. tuf / 束 / (草や毛などの)“束”を指す場面でよく使われる / 7画でそこまで多くなく、他の「束」と統一可能
39. flok / 片 / (羽毛などの)“片・フレーク”をイメージ。「片」はシンプルかつ汎用度も高い / 4画のみで覚えやすい
40. mas / 团 / (かたまり)のイメージ。「団塊」などを想起 / 6画でそこまで複雑でなく、塊状イメージを共有しやすい
41. fask / 束 / “束ねる/一束”という意味で「束」を流用 / すでに17番(tuf)で出ているので学習コストを低減
42. garb / 束 / 同じく“束・捆”のニュアンスで「束」 / 同一文字再利用により学習負担を軽減
43. trikot / 针织 / “ニット・編物”の一般的呼称。「针」(針) +「织」(織) / 2文字だが標準用語かつわかりやすい